資料１

栗東市
障がい福祉についての
アンケート調査　結果報告書

令和５年９月

滋賀県 栗東市

目　次

Ⅰ　アンケート調査の概要 1
　１　調査の目的 1
　２　調査概要 1
　３　回収結果 1
　４　報告書の見方 1

Ⅱ　アンケート調査結果 2
　記入者について 2
　１　調査対象者について 3
　２　日常生活について 8
　３　就労・就学について 30
　４　スポーツ・レクリエーションのことについて 41
　５　災害時のことについて 44
　６　障がい福祉サービスについて 48
　７　一人ひとりの権利を守る取り組みについて 53
　８　今後についての調査対象者のお考えについて 61
　９　障がいのある人を「主に介助する人」について 64

Ⅰ　アンケート調査の概要

1　調査の目的

本調査は、障がいのある人のニーズを踏まえた、障がい福祉サービスの目標値と必要なサービスの見込み量を確保する方策を位置づける「第７期栗東市障がい福祉計画・第３期栗東市障がい児福祉計画」の策定のための基礎資料とするために実施しました。

2　調査概要

●調 査 地 域：栗東市全域
●調査対象者：身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者、発達障がい診断を受けている方、難病認定を受けている方
●調 査 期 間：令和５年８月 11 日（金）～８月 25 日（金）
●調 査 方 法：調査票による本人記入方式、郵送配布・郵送回収による郵送調査

3　回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
2,000 件	1,030 件	51.5%

4　報告書の見方

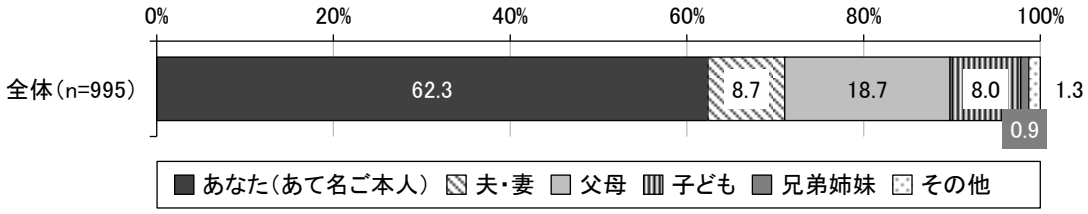
●回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第２位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から１つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
●複数回答（複数の選択肢から２つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
●図表中の「n（number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
●本文中の分析において「n」が 10 以下の回答はその対象に含めていません。
●本文中では、身体障害者手帳所持者を〔身体〕、療育手帳所持者を〔知的〕、精神障害者保健福祉手帳所持者を〔精神〕、発達障がい診断を受けている方を〔発達〕、難病認定を受けている方を〔難病〕とそれぞれ略記しています。

Ⅱ　アンケート調査結果

記入者について

◎アンケートに直接記入していただく方はどなたですか。代理の方である場合は、ご本人との関係をお答えください。（あてはまるもの１つに○印を記入）

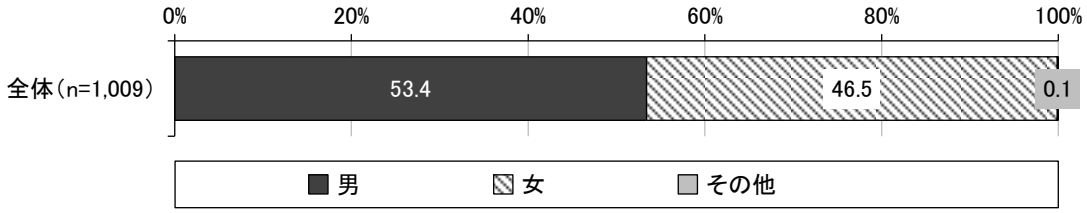
記入者についてみると、「あなた（あて名ご本人）」が 62.3%と最も高く、次いで「父母」が 18.7%、「夫・妻」が 8.7%となっています。



1　調査対象者について

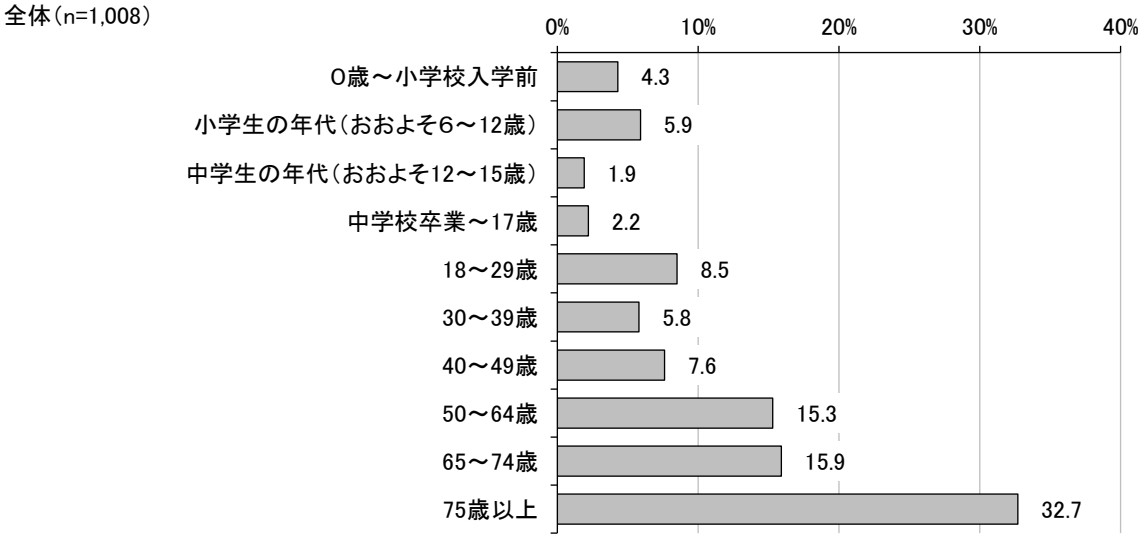
問１　あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの１つに○印を記入）

性別についてみると、「男」が 53.4%、「女」が 46.5%、「その他」が 0.1%となっています。



問２　あなたの年齢もしくは年代をお答えください。（あてはまるもの１つに○印を記入）
※令和５年８月１日現在でお答えください。

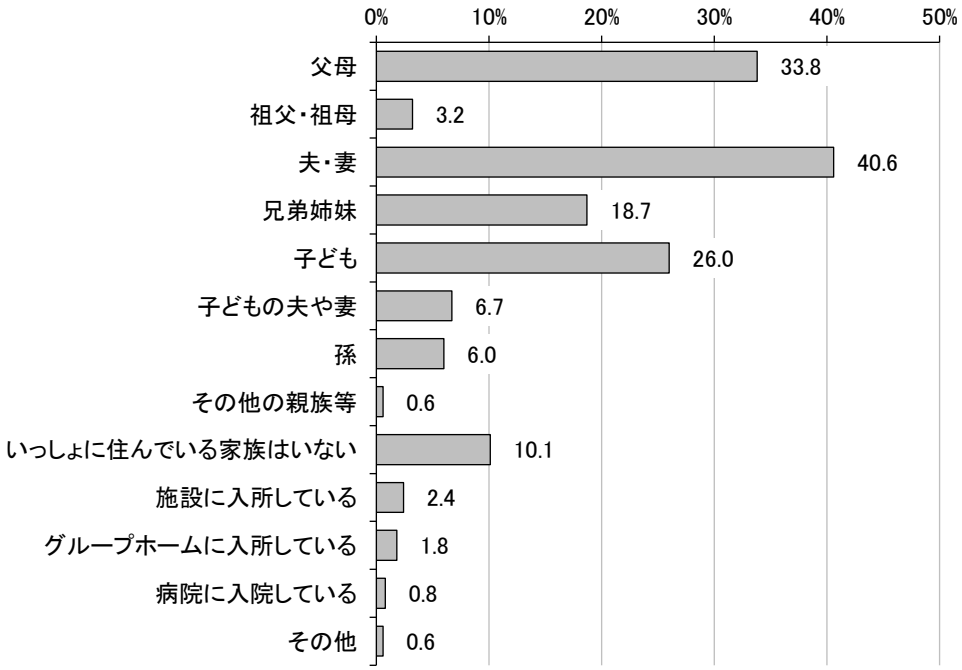
年齢もしくは年代についてみると、「75 歳以上」が 32.7%と最も高く、次いで「65～74 歳」が 15.9%となっています。



問３　あなたがいっしょに住んでいるご家族は誰かをお答えください。（あてはまるものすべてに○印を記入）　※あなたからみた関係性でお答えください。

同居家族についてみると、「夫・妻」が 40.6%と最も高く、次いで「父母」が 33.8%となっています。

全体（n=1,007）

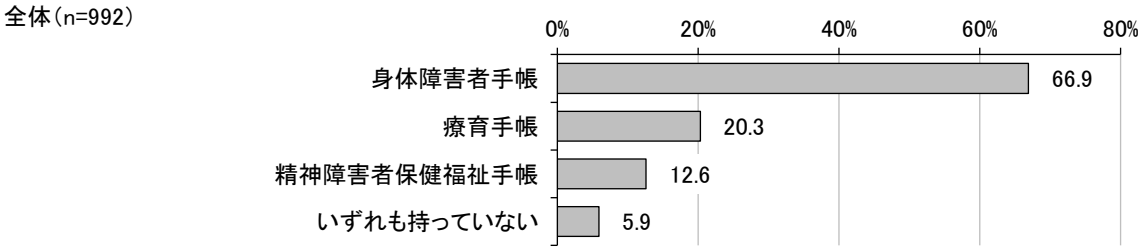


問４　あなたがお持ちの「障がい種別手帳」の種類と「等級」をそれぞれお答えください。
（あてはまるものすべてに○印を記入）

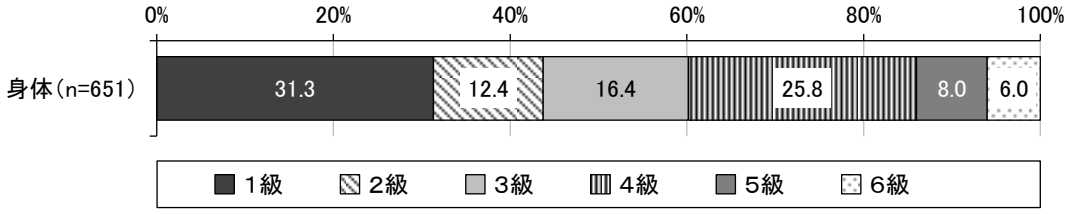
障がい種別手帳の種類についてみると、「身体障害者手帳」が 66.9%と最も高く、次いで「療育手帳」が 20.3%、「精神障害者保健福祉手帳」が 12.6%となっています。

等級についてみると、「身体障害者手帳」では「１級」が 31.3%と最も高く、次いで「４級」が 25.8%となっています。「療育手帳」では「Ｂ２（軽度）」が 43.7%と最も高く、次いで「Ｂ１（中度）」が 22.8%となっています。「精神障害者保健福祉手帳」では「２級」が 62.9%と最も高く、次いで「３級」が 29.8%となっています。

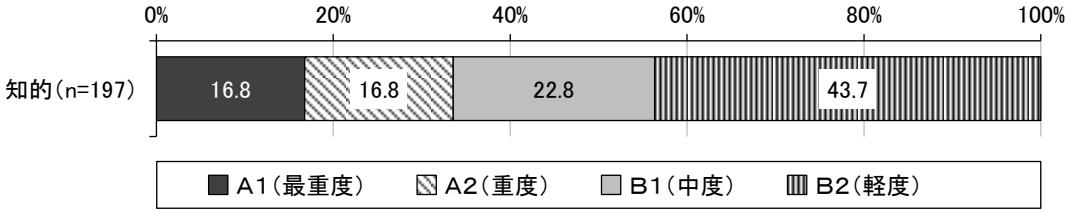
【障がい種別手帳の種類】



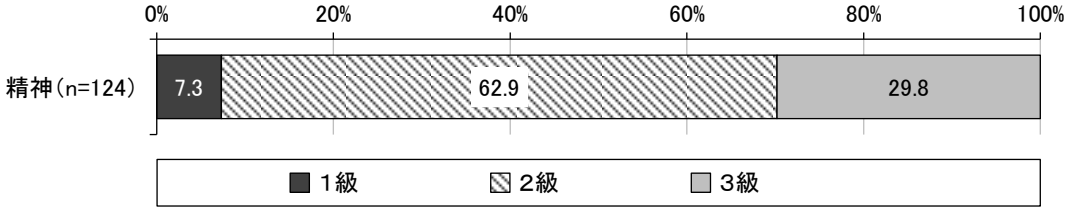
【身体障害者手帳の等級】



【療育手帳の等級】



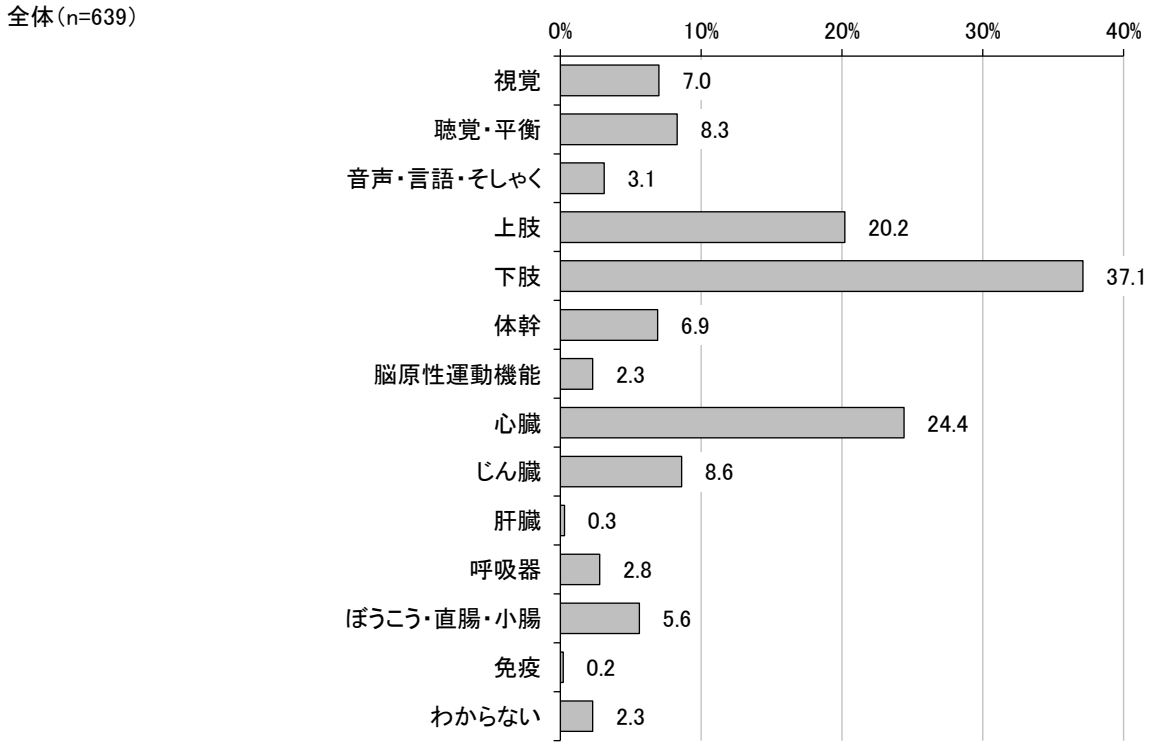
【精神障害者保健福祉手帳の等級】



✔問４で「身体障害者手帳」を選んだ方

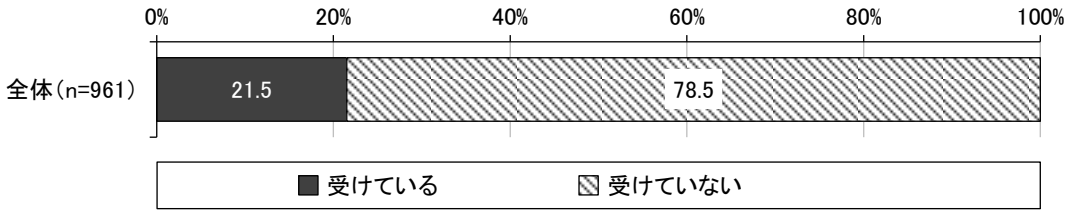
問４-1　あなたの身体障害者手帳に記載されている障がい名をお答えください。
（あてはまるものすべてに○印を記入）

身体障害者手帳に記載されている障がい名についてみると、「下肢」が 37.1%と最も高く、次いで「心臓」が 24.4%となっています。



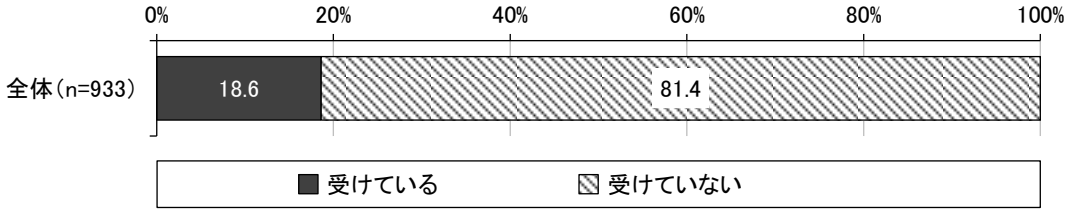
問５　あなたは、介護保険制度の要支援・要介護認定を受けていますか。
（あてはまるもの１つに○印を記入）

要支援・要介護認定についてみると、「受けている」が 21.5%、「受けていない」が 78.5%となっています。



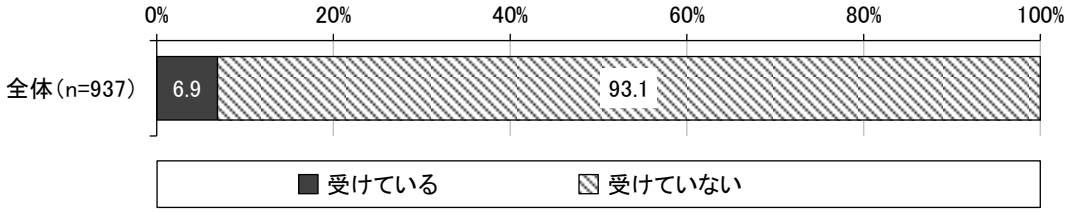
問６　あなたは、発達障がい診断を受けていますか。（あてはまるもの１つに○印を記入）

発達障がい診断についてみると、「受けている」が 18.6%、「受けていない」が 81.4%となっています。



問７　あなたは、難病認定を受けていますか。（あてはまるもの１つに○印を記入）

難病認定についてみると、「受けている」が 6.9%、「受けていない」が 93.1%となっています。

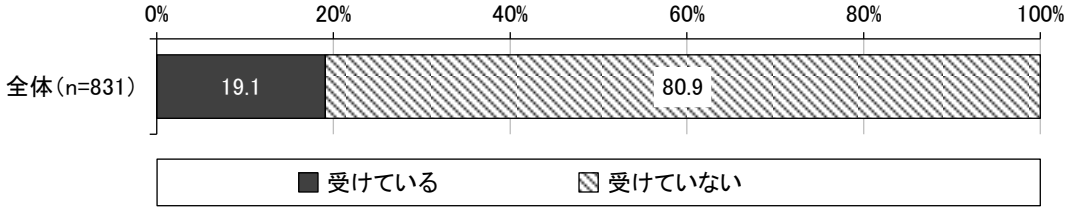


問８　あなたは、障がい支援区分の認定を受けていますか。（あてはまるもの１つに○印を記入）
また、認定を受けている方は当てはまる区分をお答えください。（１～６の数字を記入）

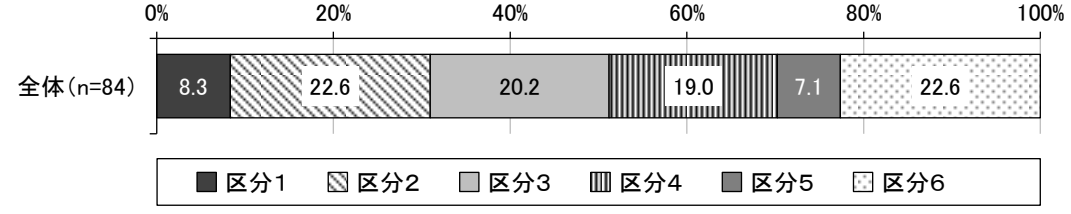
障がい支援区分の認定についてみると、「受けている」が 19.1%、「受けていない」が 80.9%となっています。

認定を受けている方の当てはまる区分についてみると、「区分２」「区分４」がともに 22.6%と最も高く、次いで「区分３」が 20.2%となっています。

【障がい支援区分の認】



【認定を受けている方の当てはまる区分】



２　日常生活について

問９　あなたは次の①～⑫の日常生活の項目についてどの程度できますか。（それぞれの項目のあてはまるもの１つに○印を記入）

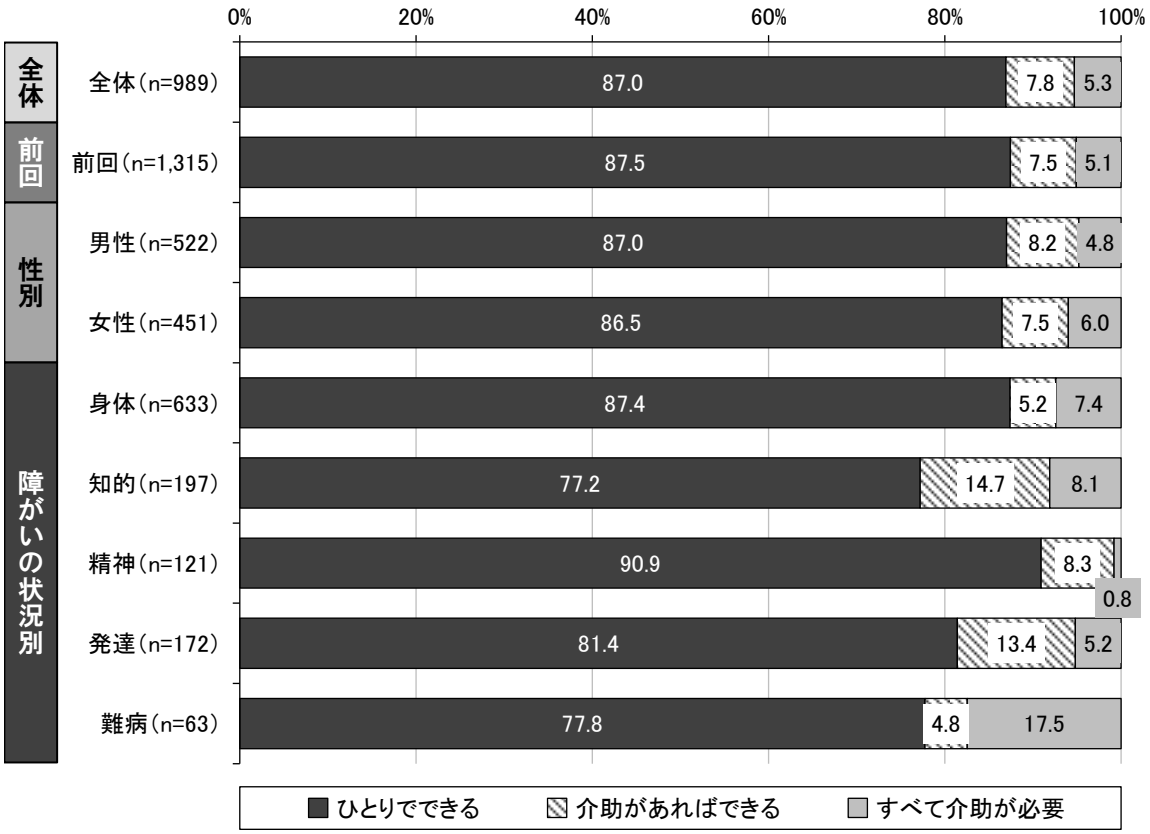
①食事をする

食事をするについてみると、全体では「ひとりでできる」が 87.0%と最も高く、次いで「介助があればできる」が 7.8%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。



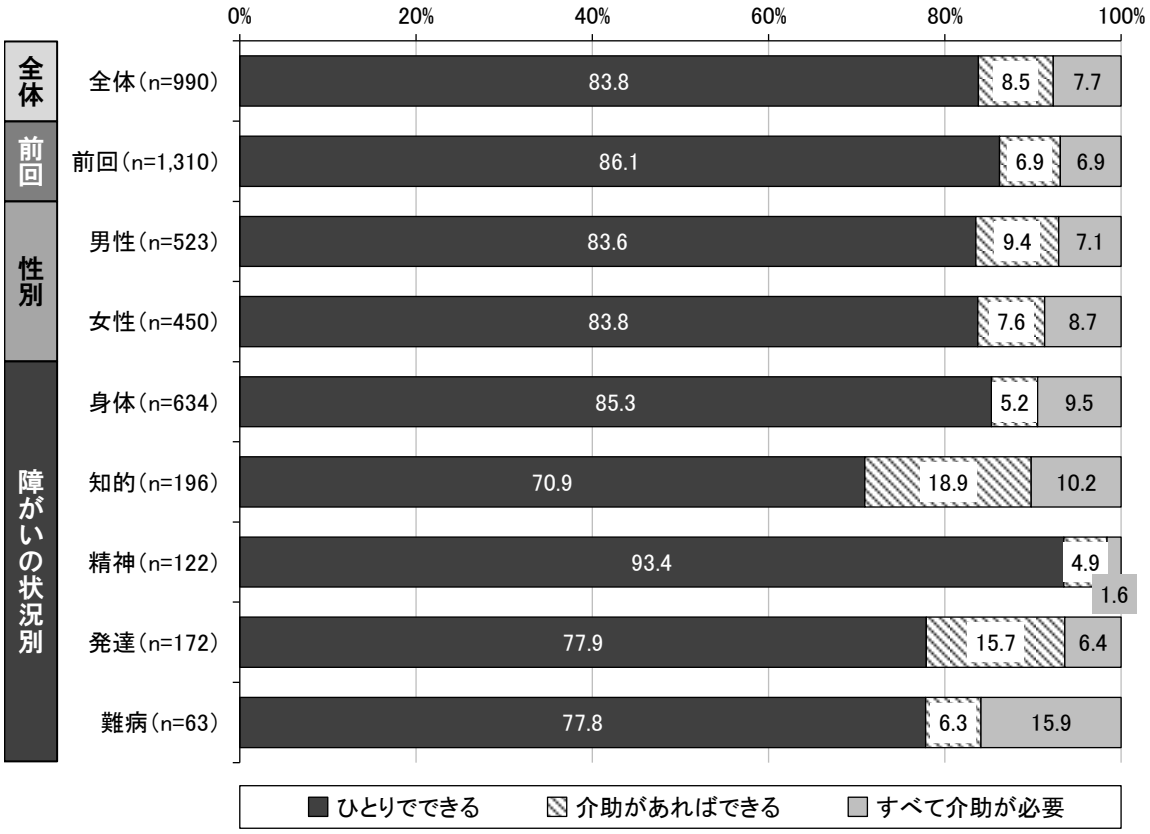
②トイレにいく

トイレにいくについてみると、全体では「ひとりでできる」が 83.8%と最も高く、次いで「介助があればできる」がともに 8.5%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。



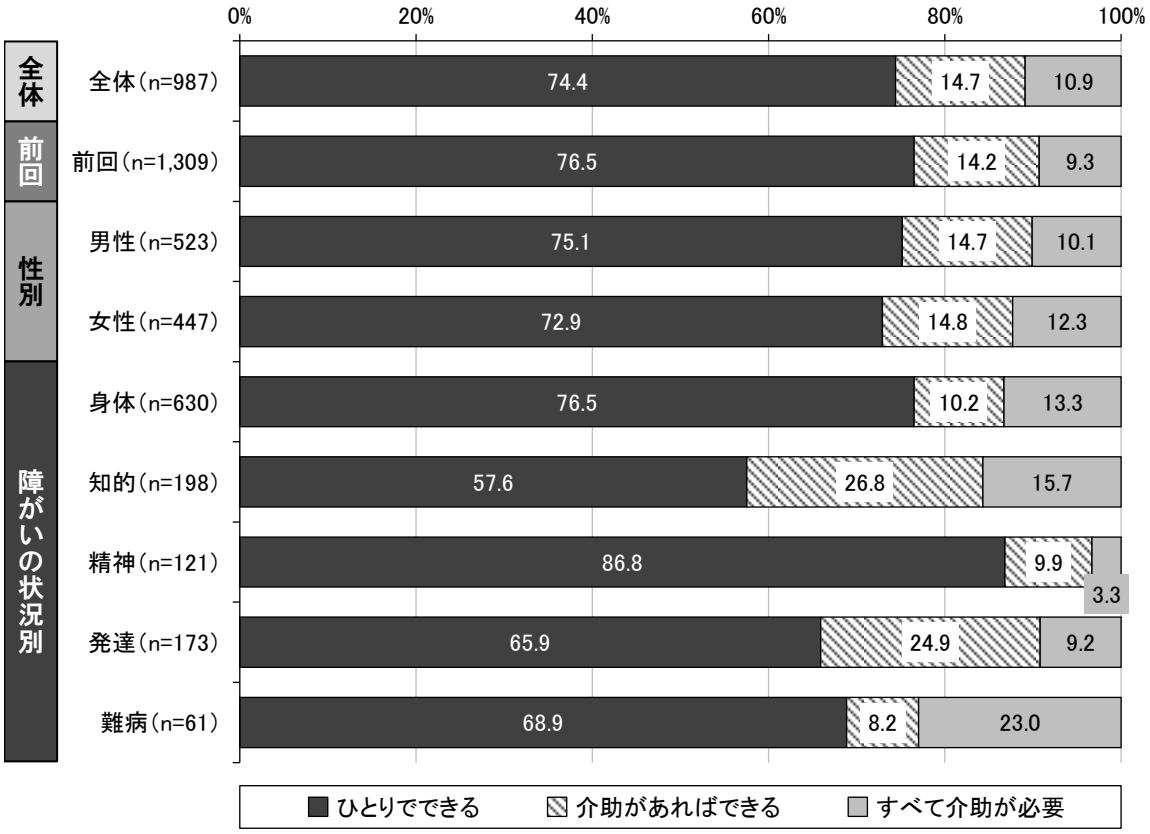
③お風呂に入る

お風呂に入るについてみると、全体では「ひとりでできる」が 74.4%と最も高く、次いで「介助があればできる」が 14.7%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。



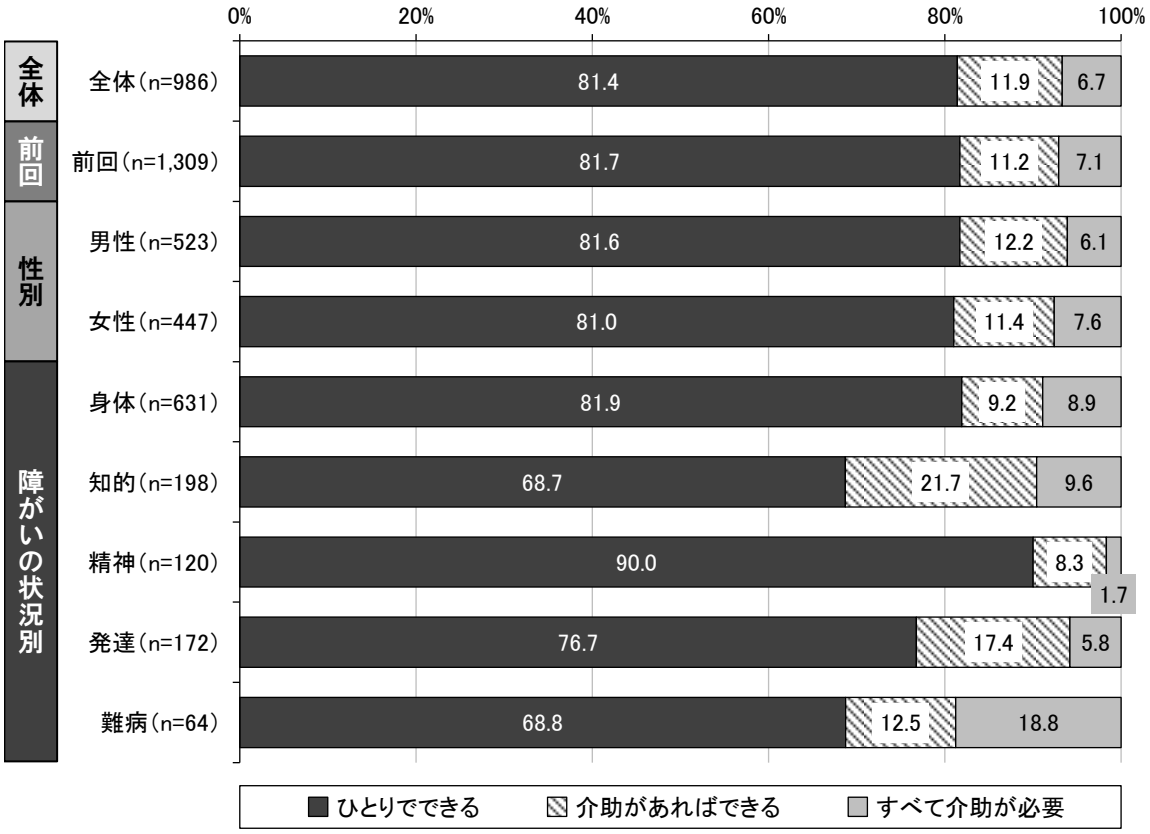
④着替え

着替えについてみると、全体では「ひとりでできる」が 81.4%と最も高く、次いで「介助があればできる」が 11.9%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。



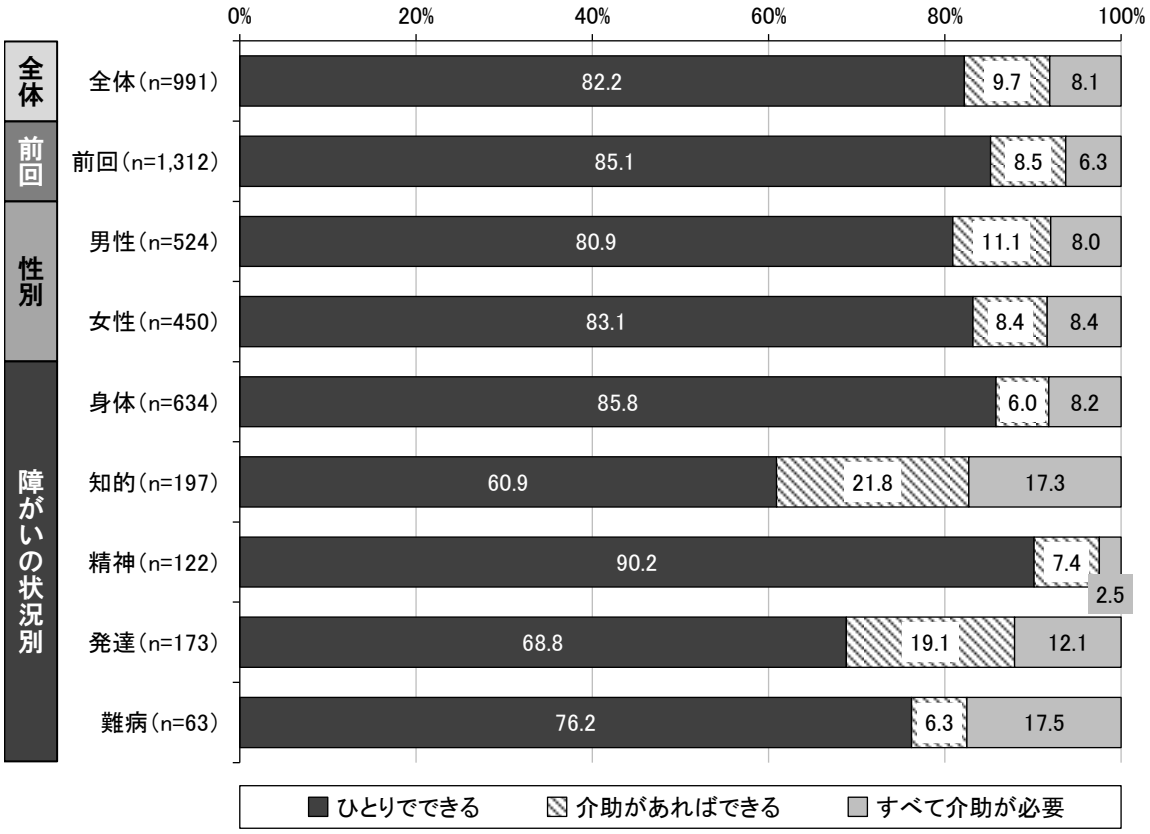
⑤顔を洗う、歯みがきなど

顔を洗う、歯みがきなどについてみると、全体では「ひとりでできる」が 82.2%と最も高く、次いで「介助があればできる」が 9.7%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。



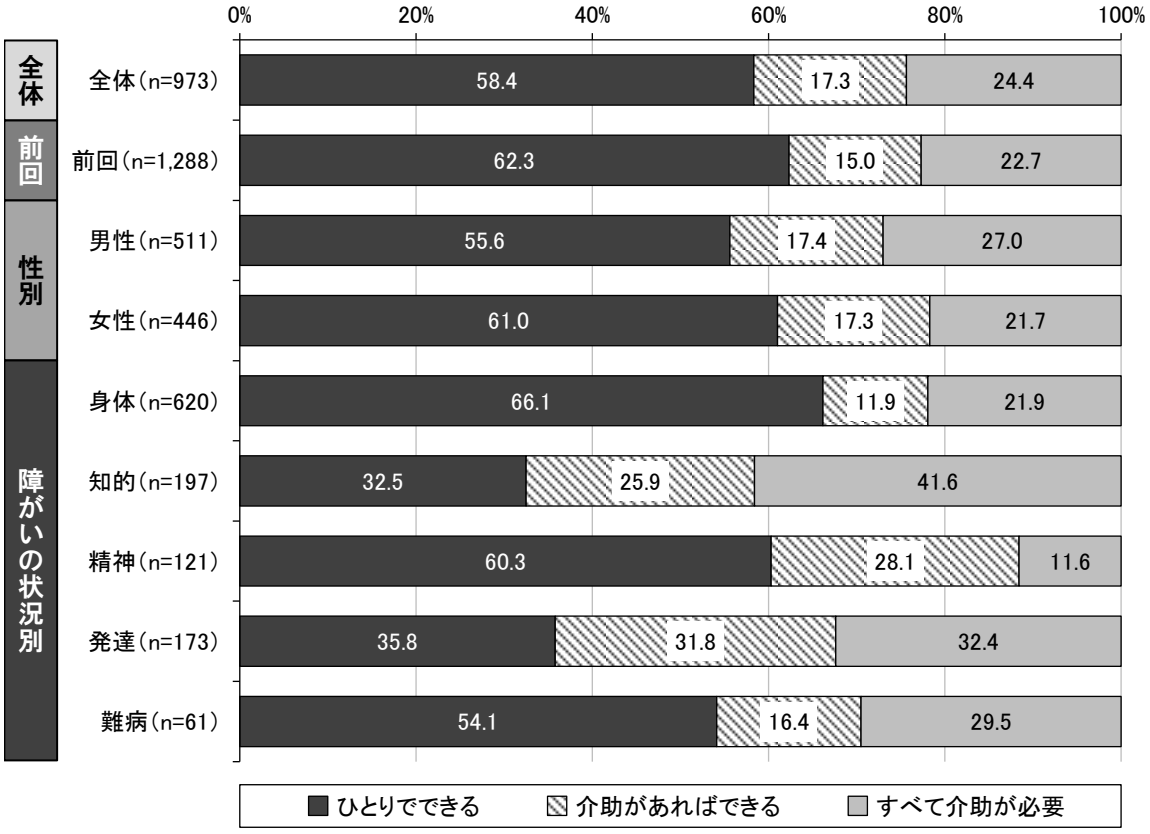
⑥食事を用意する

食事を用意するについてみると、全体では「ひとりでできる」が 58.4%と最も高く、次いで「すべて介助が必要」が 24.4%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、女性では「ひとりでできる」が男性より 5.4 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔精神〕〔発達〕〔難病〕では「ひとりでできる」、〔知的〕では「すべて介助が必要」がそれぞれ最も高くなっています。



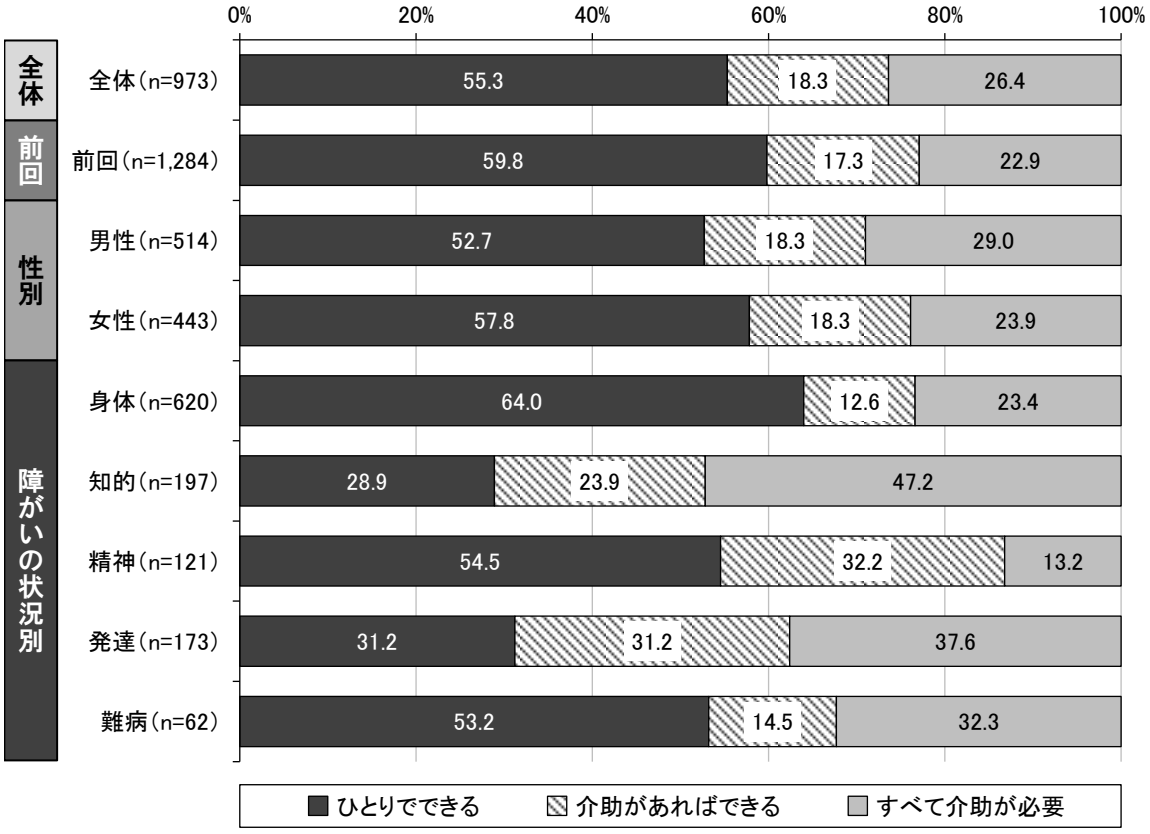
⑦掃除、洗濯などの家事

掃除、洗濯などの家事についてみると、全体では「ひとりでできる」が 55.3%と最も高く、次いで「すべて介助が必要」が 26.4%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、男性では「すべて介助が必要」が女性より 5.1 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔精神〕〔難病〕では「ひとりでできる」、〔知的〕〔発達〕では「すべて介助が必要」がそれぞれ最も高くなっています。



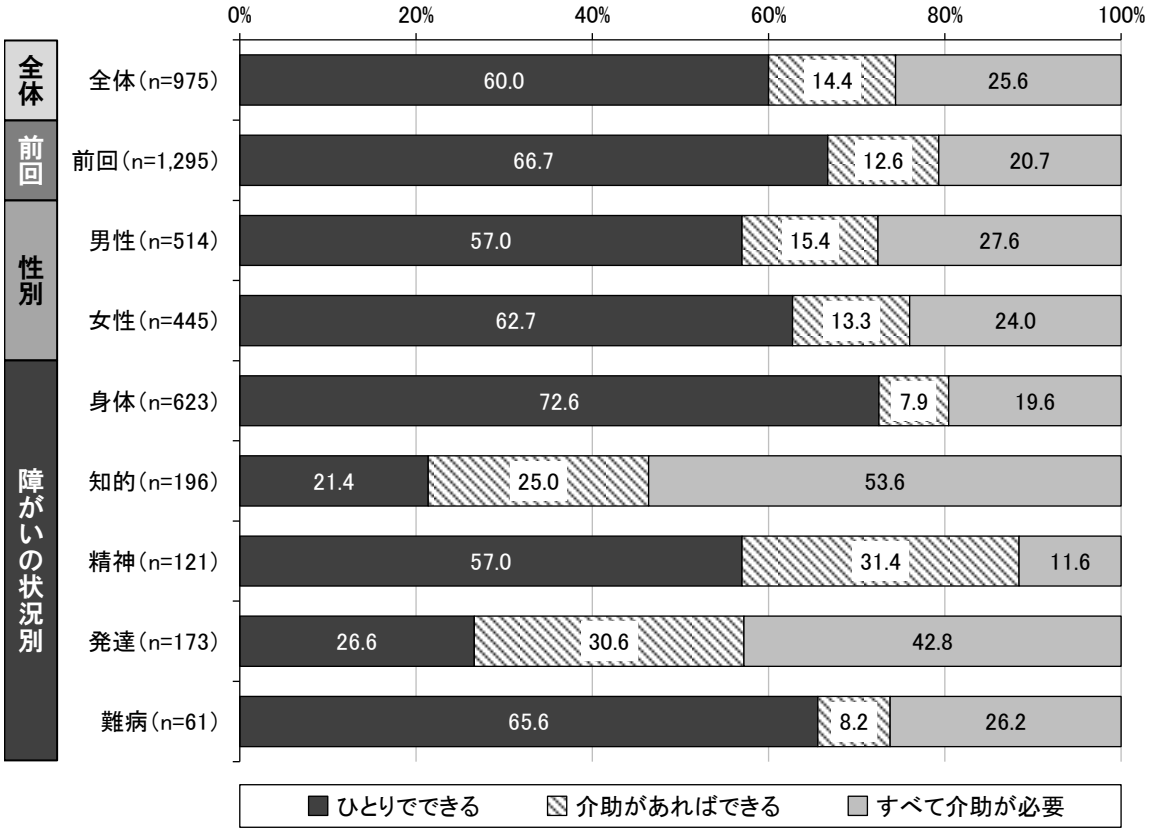
⑧計画的なお金の使用

計画的なお金の使用についてみると、全体では「ひとりでできる」が 60.0%と最も高く、次いで「すべて介助が必要」が 25.6%となっています。

前回と比較すると、「ひとりでできる」が 6.7 ポイント減少しています。

性別にみると、女性では「ひとりでできる」が男性より 5.7 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔精神〕〔難病〕では「ひとりでできる」、〔知的〕〔発達〕では「すべて介助が必要」がそれぞれ最も高くなっています。



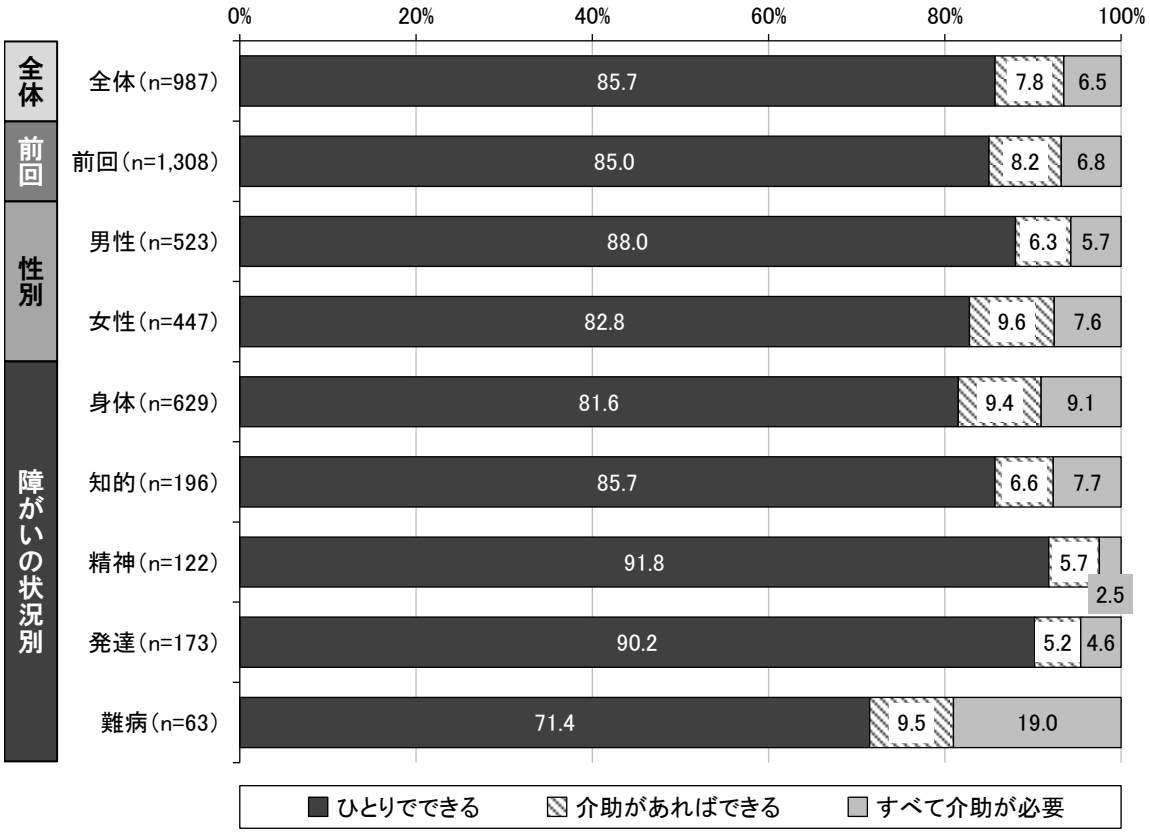
⑨家の中の移動

家の中の移動についてみると、全体では「ひとりでできる」が 85.7%と最も高く、次いで「介助があればできる」が 7.8%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。



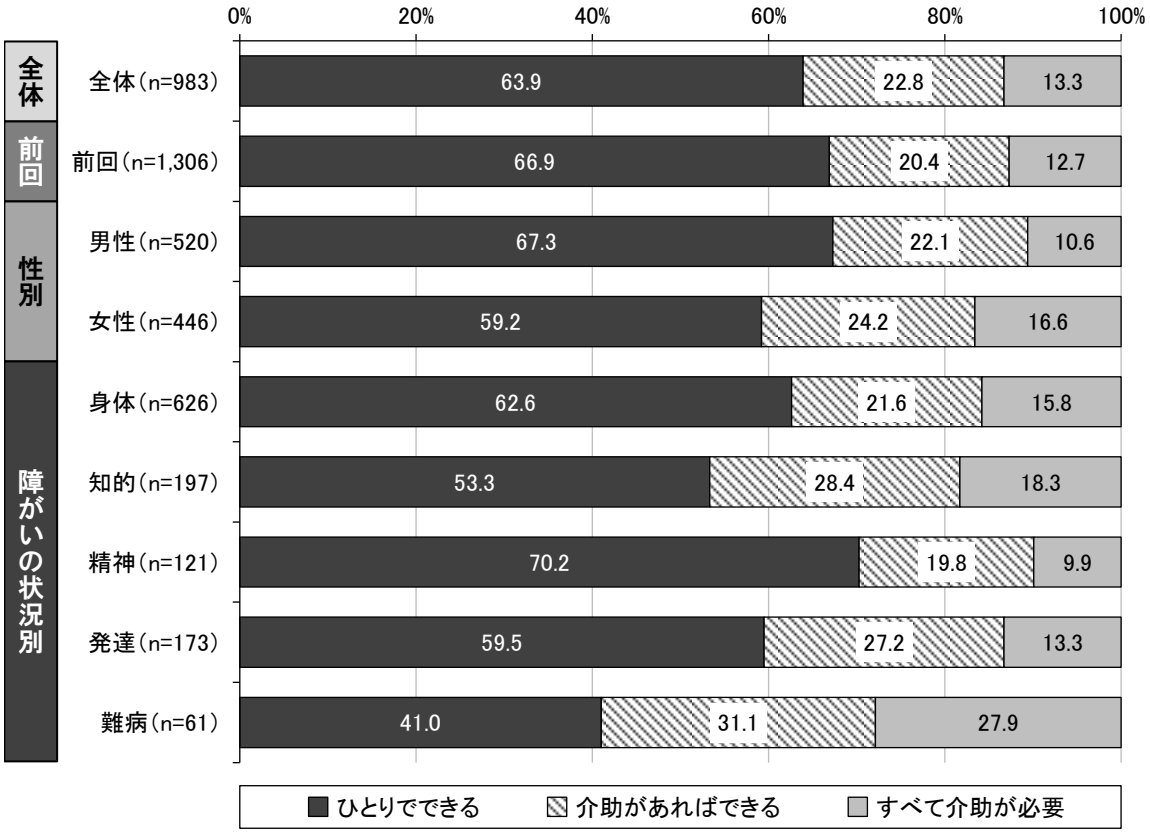
⑩家の外の移動

家の外の移動についてみると、全体では「ひとりでできる」が 63.9%と最も高く、次いで「介助があればできる」が 22.8%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、男性では「ひとりでできる」が女性より 8.1 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。



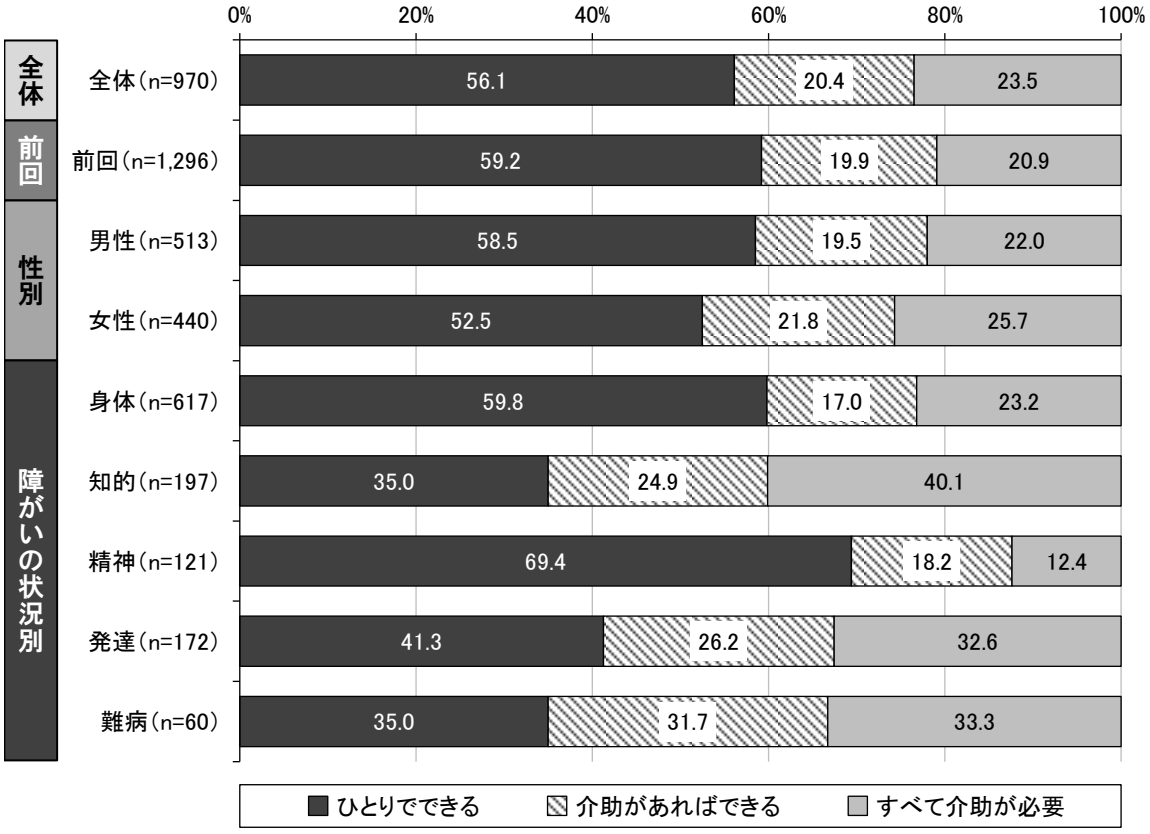
⑪交通機関の利用

交通機関の利用についてみると、全体では「ひとりでできる」が 56.1%と最も高く、次いで「すべて介助が必要」が 23.5%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、男性では「ひとりでできる」が女性より 6.0 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔精神〕〔発達〕〔難病〕では「ひとりでできる」、〔知的〕では「すべて介助が必要」がそれぞれ最も高くなっています。



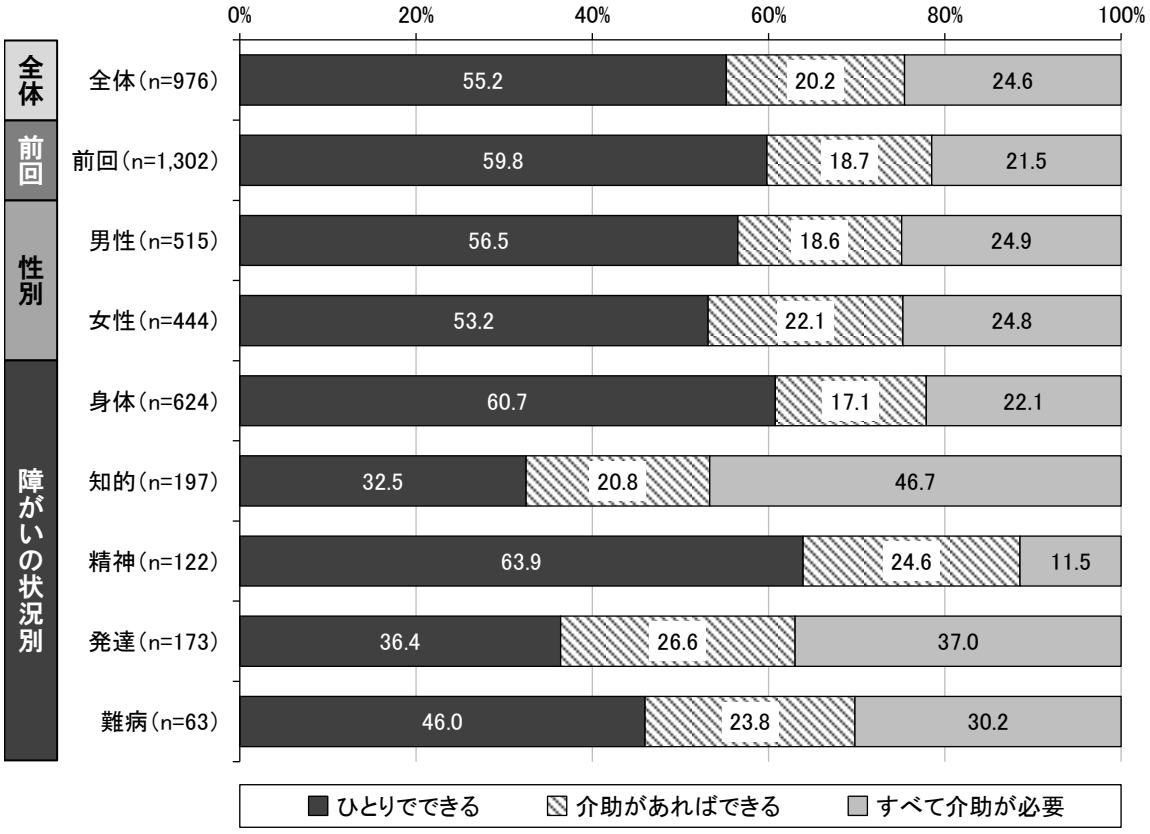
⑫普段使うものなどの買い物

普段使うものなどの買い物についてみると、全体では「ひとりでできる」が 55.2%と最も高く、次いで「すべて介助が必要」が 24.6%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「ひとりでできる」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔精神〕〔難病〕では「ひとりでできる」、〔知的〕〔発達〕では「すべて介助が必要」がそれぞれ最も高くなっています。



問10　あなたが主に介助してもらう人は誰ですか。（あてはまるもの１つに○印を記入）

主に介助してもらう人についてみると、全体では「同居の家族」が64.1%と最も高く、次いで「介助してもらう人は必要ない」が22.5%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「同居の家族」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「同居の家族」が最も高くなっています。

単位:%		同居の家族	別居の家族・親族	近所の人	民生委員・児童委員	ホームヘルパー	福祉施設・病院の職員	ボランティア	グループホームの職員	その他	介護が必要だが介助してもらう人がいない	介助してもらう人は必要ない
全体(n=947)		64.1	4.8	0.4	0.1	1.7	3.7	0.0	1.6	0.6	0.5	22.5
前回(n=1,253)		62.5	5.3	0.4	0.1	2.2	3.5	0.0	0.9	0.9	0.4	23.9
性別	男性(n=505)	64.8	4.6	0.2	0.0	1.4	2.0	0.0	1.8	0.4	0.6	24.4
	女性(n=427)	63.2	4.9	0.7	0.2	2.1	5.6	0.0	1.4	0.9	0.5	20.4
障がいの状況別	身体(n=603)	59.2	6.3	0.7	0.2	1.3	4.3	0.0	0.8	0.5	0.7	26.0
	知的(n=190)	82.1	1.1	0.0	0.0	1.6	2.6	0.0	3.7	1.1	0.0	7.9
	精神(n=117)	54.7	6.0	0.0	0.0	5.1	3.4	0.0	1.7	0.9	0.9	27.4
	発達(n=168)	84.5	0.6	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	1.8	1.2	0.0	10.7
	難病(n=63)	71.4	11.1	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	3.2	1.6	11.1

✔ 問 10 で「同居の家族」「別居の家族・親族」を選んだ方

問 10-1　あなたが介助してもらう人(介助者)について、不安や心配に感じていることは何ですか。
（あてはまるものすべてに○印を記入）

介助者について、不安や心配に感じていることについてみると、全体では「介助者の健康」が 57.8%と最も高く、次いで「介助者の体力面」が 31.6%となっています。

前回と比較すると、「介助者の健康」が 9.2 ポイント減少しています。

性別にみると、いずれも「介助者の健康」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「介助者の健康」が最も高くなっています。

単位:%		介助者の健康	介助者が高齢であること	代わりに介助を頼める人がいない	介助者が仕事に出かけられない	介助者が外出や旅行に出かけられない	介助者に休養や息抜きの時間がない	緊急時の対応	介助者の経済面	介助者の精神面	介助者の体力面	介助者の相談相手がいない	その他	特にない
全体(n=632)		57.8	28.3	25.6	8.4	12.0	14.1	23.6	20.7	22.3	31.6	5.9	0.9	20.6
前回(n=813)		67.0	30.3	26.1	8.1	13.5	13.7	29.3	21.4	23.9	31.4	6.6	1.4	14.4
性別	男性(n=341)	56.6	29.0	26.1	7.0	10.9	12.9	23.5	19.4	22.0	33.4	5.6	0.6	22.0
	女性(n=280)	58.6	27.1	25.0	9.6	12.5	15.7	23.9	22.1	21.4	28.9	5.7	1.1	19.3
障がいの状況別	身体(n=377)	63.9	34.2	26.5	9.5	14.3	14.9	26.5	17.2	20.4	32.4	5.0	0.8	15.1
	知的(n=156)	54.5	21.2	32.7	9.6	10.3	18.6	27.6	25.0	26.3	40.4	6.4	0.6	21.2
	精神(n=70)	62.9	22.9	27.1	4.3	10.0	14.3	18.6	44.3	38.6	40.0	11.4	1.4	15.7
	発達(n=142)	52.8	14.8	25.4	7.7	4.2	14.8	19.7	21.8	23.9	35.9	4.2	0.7	27.5
	難病(n=51)	74.5	39.2	29.4	19.6	23.5	31.4	35.3	27.5	23.5	45.1	11.8	0.0	7.8

✔ 問 10 で「同居の家族」「別居の家族・親族」を選んだ方

問 10-2　あなたが介助してもらう人が、急病・事故・出産などのため一時的に介助ができなくなった場合、どうすることにしていますか。（あてはまるものすべてに○印を記入）

介助してもらう人が一時的に介助できなくなった場合についてみると、全体では「同居している家族などに頼む」が 45.0%と最も高く、次いで「親戚・知人に頼む」が 29.2%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「同居している家族などに頼む」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔知的〕〔精神〕〔発達〕では「同居している家族などに頼む」、〔難病〕では「施設や病院などに一時的に依頼する（ホームヘルプ、ショートステイなどを含む）」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		同居している家族などに頼む	親戚・知人に頼む	近所の人に頼む	介助してもらう人を雇う	相談事業所に相談する	いつも利用している事業所に頼む	施設や病院などに一時的に依頼する（ホームヘルプ、ショートステイなどを含む）	その他	他に頼める人がいない	特に考えていない
全体(n=607)		45.0	29.2	4.0	4.0	14.3	11.9	19.8	5.6	8.4	8.9
前回(n=773)		42.4	28.8	3.4	4.4	15.8	12.7	21.5	2.2	11.9	10.2
性別	男性(n=325)	46.5	29.5	3.1	4.0	14.8	13.2	18.5	4.0	8.3	9.5
	女性(n=272)	44.1	29.0	5.1	3.7	14.3	10.3	21.0	7.4	8.1	8.5
障がいの状況別	身体(n=368)	37.0	25.5	4.6	5.2	16.3	11.4	24.7	7.1	5.4	10.3
	知的(n=148)	58.8	29.1	1.4	2.7	18.2	14.9	20.3	3.4	10.1	5.4
	精神(n=68)	39.7	23.5	5.9	4.4	13.2	16.2	10.3	1.5	23.5	11.8
	発達(n=133)	56.4	35.3	3.8	2.3	16.5	10.5	17.3	3.0	8.3	5.3
	難病(n=48)	31.3	33.3	10.4	6.3	22.9	16.7	41.7	10.4	6.3	4.2

※今回調査の選択肢「施設や病院などに一時的に依頼する（ホームヘルプ、ショートステイなどを含む）」は、前回調査では「施設や病院などに一時的に依頼する」

問 11　あなたが困った時に主に相談をする相手は誰ですか。
（あてはまるもの上位５つまでに○印を記入）

困った時の相談相手についてみると、全体では「同居の家族」が 74.8%と最も高く、次いで「別居の家族」が 39.1%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、女性では「友人・知人」が男性より 9.4 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「同居の家族」が最も高くなっています。

単位：%		同居の家族	別居の家族	友人・知人	ホームヘルパー	職場の同僚・上司	学校の先生	医師・看護師などの専門職	近所の人	ボランティア	障がい者施設・作業所などの職員
全体（n=1,003）		74.8	39.1	22.4	5.8	5.1	8.6	25.9	6.5	0.5	12.7
前回（n=1,288）		74.9	39.3	23.1	5.4	7.4	4.2	25.5	6.1	0.5	9.7
性別	男性（n=523）	75.9	35.6	18.2	4.4	6.3	12.0	25.8	4.8	0.4	15.3
	女性（n=460）	74.3	43.9	27.6	7.6	3.9	5.0	26.5	8.3	0.7	9.8
障がいの状況別	身体（n=643）	71.5	45.3	22.1	6.5	4.4	2.3	27.8	8.6	0.6	5.6
	知的（n=196）	80.6	24.0	17.3	7.7	8.7	22.4	14.3	3.1	1.0	36.7
	精神（n=125）	72.8	28.8	26.4	3.2	3.2	4.0	44.0	2.4	0.0	16.8
	発達（n=171）	90.1	24.6	22.8	3.5	7.0	28.7	23.4	2.3	1.2	29.2
	難病（n=64）	65.6	50.0	23.4	10.9	6.3	6.3	35.9	3.1	0.0	9.4

単位：%		市役所・保健センターの職員	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の職員	障がい者団体	就労や生活の支援（応援）センター	相談支援専門員	成年後見（保佐、補助）人	その他	特にいない
全体（n=1,003）		16.0	4.0	4.2	1.4	3.7	8.3	0.6	5.2	3.8
前回（n=1,288）		16.8	4.5	4.5	1.8	4.5	7.7	0.3	3.4	4.0
性別	男性（n=523）	16.6	3.1	4.6	1.3	4.6	9.2	1.1	5.0	4.8
	女性（n=460）	14.8	5.0	3.5	1.1	2.8	7.2	0.0	5.2	2.6
障がいの状況別	身体（n=643）	15.9	5.9	5.8	1.6	2.6	7.8	0.3	4.8	3.6
	知的（n=196）	18.4	1.5	3.6	1.5	9.2	16.3	1.5	5.1	4.1
	精神（n=125）	24.0	0.0	2.4	0.8	5.6	8.8	0.8	5.6	4.8
	発達（n=171）	18.1	0.0	1.8	1.2	8.8	15.2	0.0	5.3	2.9
	難病（n=64）	17.2	6.3	4.7	0.0	1.6	18.8	3.1	6.3	3.1

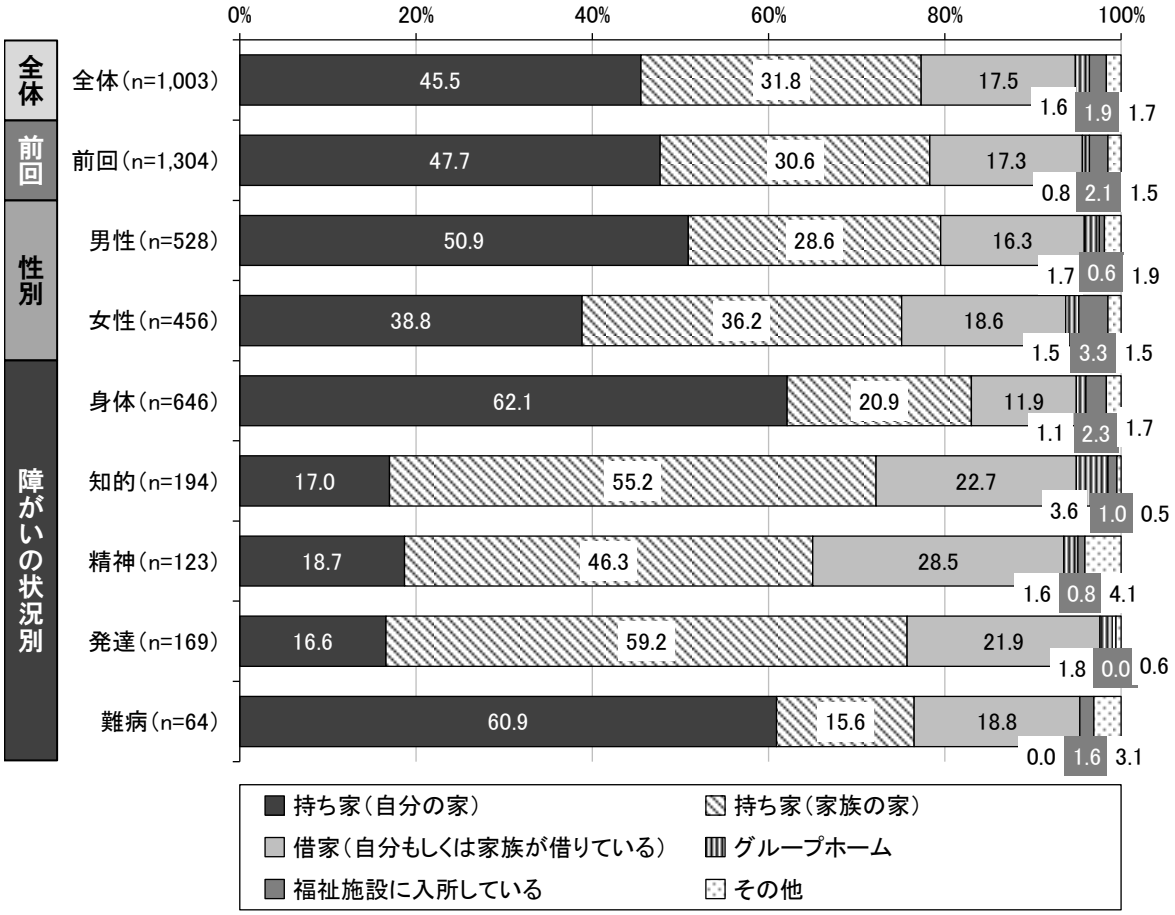
問 12　あなたの住まいの状況は次のどれにあたりますか。（あてはまるもの１つに○印を記入）

住まいの状況についてみると、全体では「持ち家（自分の家）」が 45.5%と最も高く、次いで「持ち家（家族の家）」が 31.8%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、男性では「持ち家（自分の家）」が女性より 12.1 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔難病〕では「持ち家（自分の家）」、〔知的〕〔精神〕〔発達〕では「持ち家（家族の家）」がそれぞれ最も高くなっています。



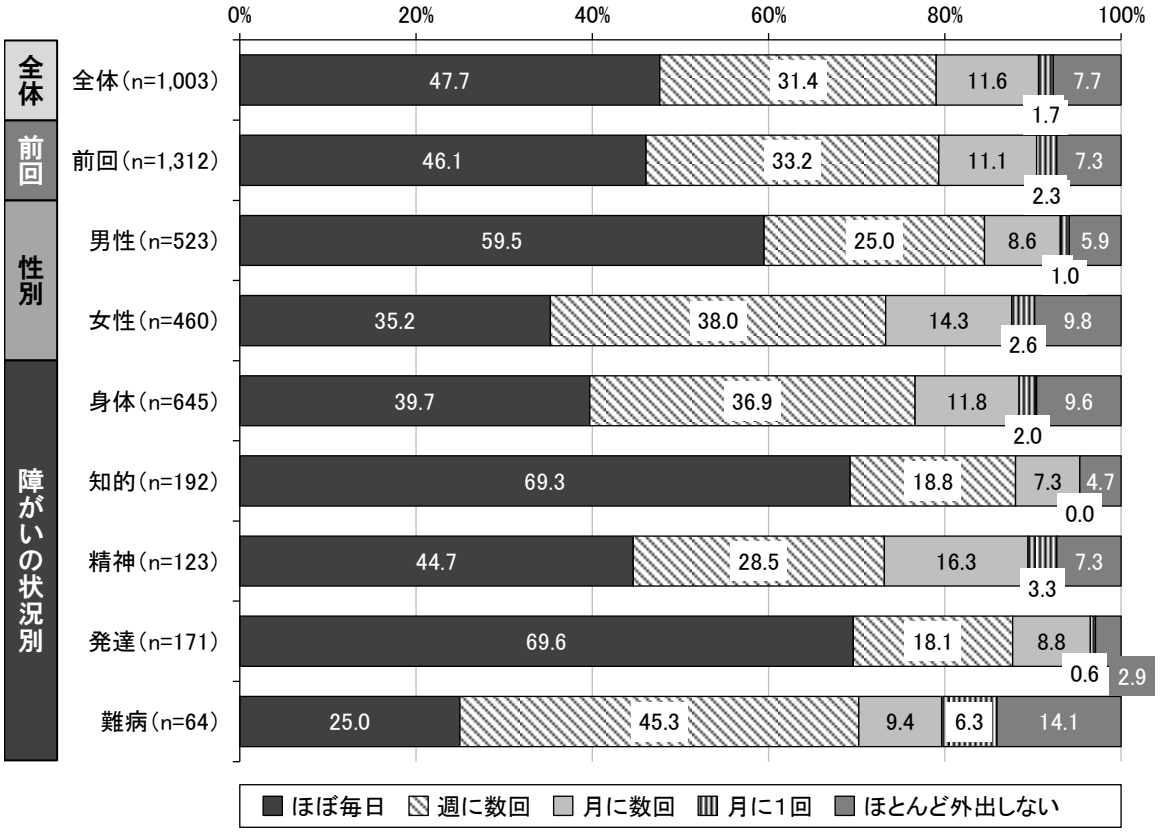
問 13　あなたの外出回数はどのくらいですか。（あてはまるもの１つに○印を記入）

外出回数についてみると、全体では「ほぼ毎日」が 47.7%と最も高く、次いで「週に数回」が 31.4%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、男性では「ほぼ毎日」、女性では「週に数回」がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔知的〕〔精神〕〔発達〕では「ほぼ毎日」、〔難病〕では「週に数回」がそれぞれ最も高くなっています。



✔問 13 で「ほぼ毎日」～「月に１回」を選んだ方

問 13-1　もっとも外出回数が多い外出の目的は何ですか。（あてはまるもの１つに○印を記入）

最も外出回数が多い外出の目的についてみると、全体では「仕事（作業所、デイサービスも含む）」が 36.0%と最も高く、次いで「買い物・食事」が 29.6%となっています。

前回と比較すると、「仕事（作業所、デイサービスも含む）」が 5.3 ポイント減少しています。

性別にみると、男性では「仕事（作業所、デイサービスも含む）」が女性より 11.4 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔難病〕では「買い物・食事」、〔知的〕〔精神〕では「仕事（作業所、デイサービスも含む）」、〔発達〕では「幼稚園・保育園・学校」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		仕事（作業所、デイサービスも含む）	幼稚園・保育園・学校	病院・医院	買い物・食事	娯楽・スポーツ	知人の家	地域や障がいのある仲間の集まり	銀行・郵便局	公共機関（市役所・保健センターなど）	旅行	その他
全体(n=733)		36.0	15.7	14.1	29.6	2.9	0.4	1.0	0.3	0.1	0.0	0.0
前回(n=1,152)		41.3	7.0	16.6	25.5	4.8	0.4	0.8	0.3	0.3	0.0	3.0
性別	男性(n=395)	41.5	19.5	9.9	24.3	3.3	0.5	0.5	0.3	0.3	0.0	0.0
	女性(n=326)	30.1	11.7	18.7	35.0	2.5	0.3	1.5	0.3	0.0	0.0	0.0
障がいの状況別	身体(n=445)	34.4	4.5	19.1	35.7	4.0	0.7	1.1	0.2	0.2	0.0	0.0
	知的(n=150)	51.3	34.0	2.0	10.0	0.7	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	精神(n=94)	41.5	7.4	19.1	29.8	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0
	発達(n=143)	42.0	42.7	3.5	9.8	1.4	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病(n=43)	27.9	11.6	20.9	39.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

✔問 13 で「ほぼ毎日」～「月に１回」を選んだ方

問 13-2　あなたが外出する時に利用する主な移動手段は何ですか。

（あてはまるものすべてに○印を記入）

外出時の主な移動手段についてみると、全体では「自家用車（乗せてもらう）」が 45.4%と最も高く、次いで「自家用車（自分で運転する）」が 32.4%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、男性では「自家用車（自分で運転する）」が女性より 13.4 ポイント高く、女性では「自家用車（乗せてもらう）」が男性より 11.6 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕では「自家用車（自分で運転する）」、〔知的〕〔発達〕〔難病〕では「自家用車（乗せてもらう）」、〔精神〕では「自転車・バイク」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		自家用車（自分で運転する）	自家用車（乗せてもらう）	徒歩・車いす・シニアカー	自転車・バイク	路線バス（くりちゃんバス）	タクシー	介護タクシー	障がい福祉サービス（移動支援、行動援護、同行援護）	電車	その他
全体(n=903)		32.4	45.4	31.2	28.6	11.6	9.2	2.8	7.3	18.3	3.8
前回(n=1,185)		34.0	42.3	26.6	27.3	11.5	8.4	2.4	6.2	18.9	1.8
性別	男性(n=481)	38.5	40.3	32.0	32.2	8.9	5.8	2.5	7.3	18.9	2.9
	女性(n=403)	25.1	51.9	30.3	25.1	14.6	13.4	3.0	7.7	17.9	5.0
障がいの状況別	身体(n=565)	43.0	40.9	26.5	21.9	12.6	12.0	4.1	5.1	15.4	4.6
	知的(n=178)	4.5	60.7	31.5	34.8	9.0	2.2	0.6	20.8	19.7	6.2
	精神(n=113)	31.9	45.1	31.9	46.9	12.4	10.6	2.7	6.2	33.6	0.0
	発達(n=165)	10.3	60.6	43.0	40.0	5.5	1.8	0.0	14.5	23.6	6.1
	難病(n=54)	33.3	55.6	27.8	25.9	7.4	14.8	13.0	3.7	20.4	3.7

問 14　あなたが外出する際に困ること、および問題があるため外出が難しくなっていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○印を記入）

外出する際に困ること、および問題があるため外出が難しくなっていることについてみると、全体では「特に困ることはない」が 36.7%と最も高く、次いで「介助してもらう人などがいないと外出が難しい」が 29.9%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、男性では「特に困ることはない」が女性より 8.0 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔精神〕では「特に困ることはない」、〔知的〕〔発達〕〔難病〕では「介助してもらう人などがいないと外出が難しい」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		介助してもらう人などがいないと外出が難しい	外出中、困ったことがあったときに介助してくれる人がいない	道路、公共交通機関、施設などがバリアフリーに改善されていない	道路や歩道に電柱、放置自転車などの障がい物が多く危ない	手話通訳者・要約筆記者がいないため、会話をするのが難しい	障がい者用のトイレが整備されていない	外出に必要な情報が得られない（駐車場の案内図や点字マップの配置場所など）	障がい者用の駐車場に一般車両が駐車している	視覚・聴覚に障がいのある人に配慮した案内表示やアナウンスなどのサービスが適切でない	他人の視線が気になる	交通手段（車など）がない	外出したい気持ちになれない	その他	特に困ることはない
全体(n=937)		29.9	13.3	9.4	5.4	1.3	7.0	1.5	11.8	3.5	8.5	11.4	11.5	8.5	36.7
前回(n=1,189)		28.3	14.2	10.7	7.3	2.0	9.5	2.1	13.7	4.6	9.8	11.4	11.4	6.6	36.0
性別	男性(n=496)	28.0	13.1	9.5	6.5	1.4	8.1	1.8	12.5	3.2	8.9	9.3	8.7	7.3	40.7
	女性(n=422)	32.9	13.0	9.0	4.0	1.2	5.7	0.9	11.4	3.6	7.6	14.0	14.9	9.5	32.7
障がいの状況別	身体(n=601)	28.3	11.6	13.3	7.3	1.7	9.3	2.0	16.8	5.2	3.5	11.5	10.0	8.7	36.8
	知的(n=187)	47.1	17.1	4.3	3.2	2.1	7.5	1.1	9.1	0.0	15.5	9.6	5.3	6.4	28.9
	精神(n=116)	21.6	19.8	6.0	4.3	1.7	2.6	0.0	1.7	0.0	25.0	14.7	31.9	14.7	31.0
	発達(n=162)	43.8	14.8	5.6	4.9	0.6	7.4	0.0	5.6	0.0	18.5	11.7	13.0	7.4	27.8
	難病(n=61)	45.9	21.3	21.3	16.4	1.6	19.7	4.9	23.0	3.3	4.9	16.4	9.8	14.8	11.5

問 15　障がいがある人の閉じこもりを防ぎ、社会参加を促すために、どのようなことが重要だと思いますか。（あてはまるもの上位３つまでに○印を記入）

障がいがある人の閉じこもりを防ぎ、社会参加を促すために重要なことについてみると、全体では「いっしょに活動する仲間をつくること」が 53.4%と最も高く、次いで「集まれる場所をつくること」が 43.9%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「いっしょに活動する仲間をつくること」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「いっしょに活動する仲間をつくること」が最も高くなっています。

単位:%		いっしょに活動する仲間をつくること	障がい者団体の活動を活発にすること	活動の指導者を育てること	集まれる場所をつくること	外出するために必要な情報が簡単に手に入る	地域の人の偏見をなくし、理解を得ること	その他	わからない
全体(n=957)		53.4	17.2	17.2	43.9	27.3	27.5	4.2	20.0
前回(n=1,210)		56.5	19.5	15.6	41.2	27.1	27.8	3.1	18.0
性別	男性(n=509)	55.2	19.1	18.7	43.8	27.1	28.5	3.9	18.7
	女性(n=428)	51.2	15.2	15.0	44.4	27.3	26.9	4.4	21.7
障がいの状況別	身体(n=606)	50.8	17.5	15.3	40.6	29.0	23.6	4.0	22.1
	知的(n=193)	57.0	22.8	17.1	52.3	20.2	36.3	2.1	18.1
	精神(n=119)	48.7	10.9	19.3	43.7	26.1	36.1	9.2	16.8
	発達(n=167)	62.3	18.0	18.6	60.5	22.8	39.5	2.4	13.2
	難病(n=59)	45.8	22.0	13.6	37.3	30.5	28.8	1.7	23.7

3　就労・就学について

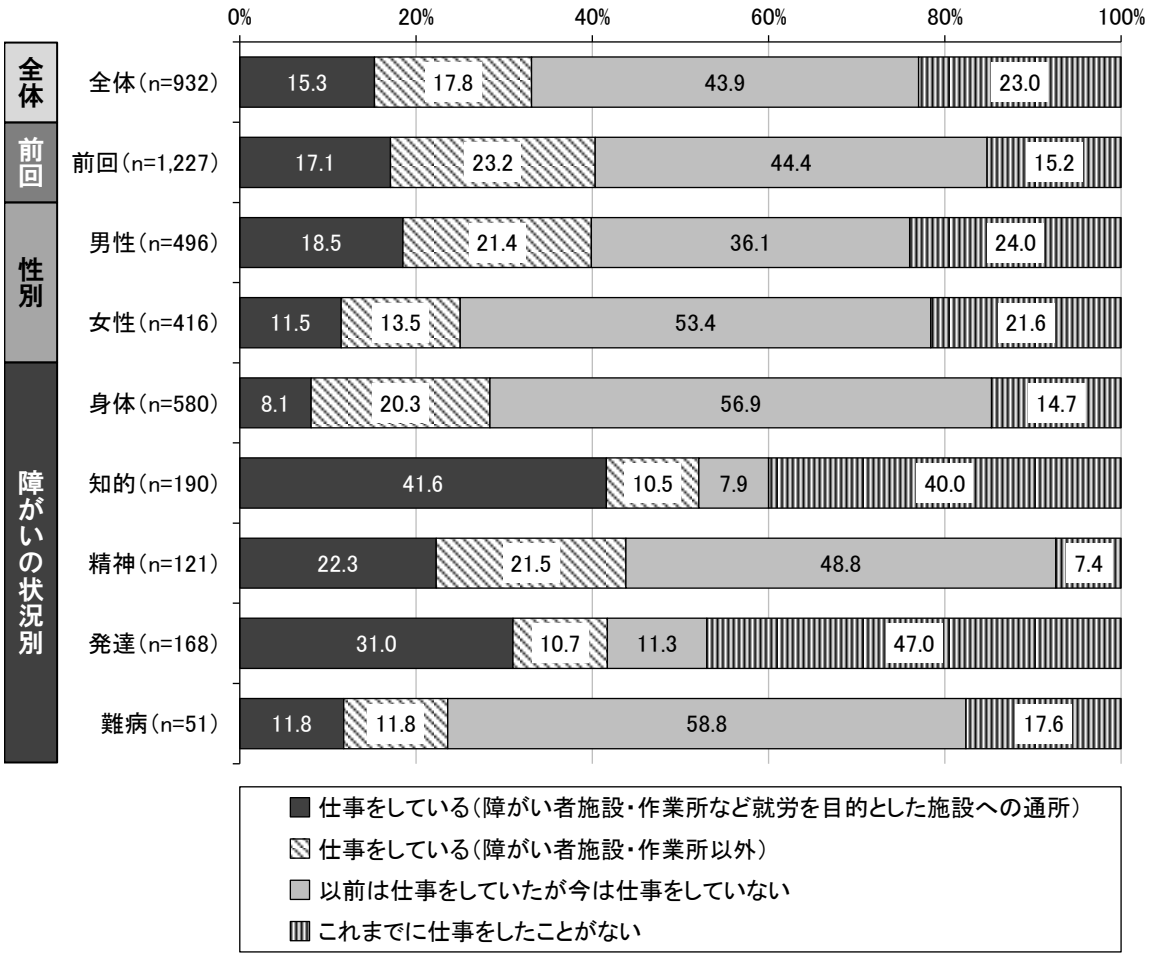
問 16　あなたは現在、仕事（ここでは作業所への通所も含みます）をしていますか。
（あてはまるもの１つに○印を記入）　※ デイサービスは除く

仕事をしているかについてみると、全体では「以前は仕事をしていたが今は仕事をしていない」が 43.9%と最も高く、次いで「これまでに仕事をしたことがない」が 23.0%となっています。

前回と比較すると、「これまでに仕事をしたことがない」が 7.8 ポイント増加しています。

性別にみると、女性では「以前は仕事をしていたが今は仕事をしていない」が男性より 17.3 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔精神〕〔難病〕では「以前は仕事をしていたが今は仕事をしていない」、〔知的〕では「仕事をしている（障がい者施設・作業所など就労を目的とした施設への通所）」、〔発達〕では「これまでに仕事をしたことがない」がそれぞれ最も高くなっています。



✔問 16 で「仕事をしている （障がい者施設・作業所など就労を目的とした施設への通所）」「仕事をしている （障がい者施設・作業所以外）」を選んだ方

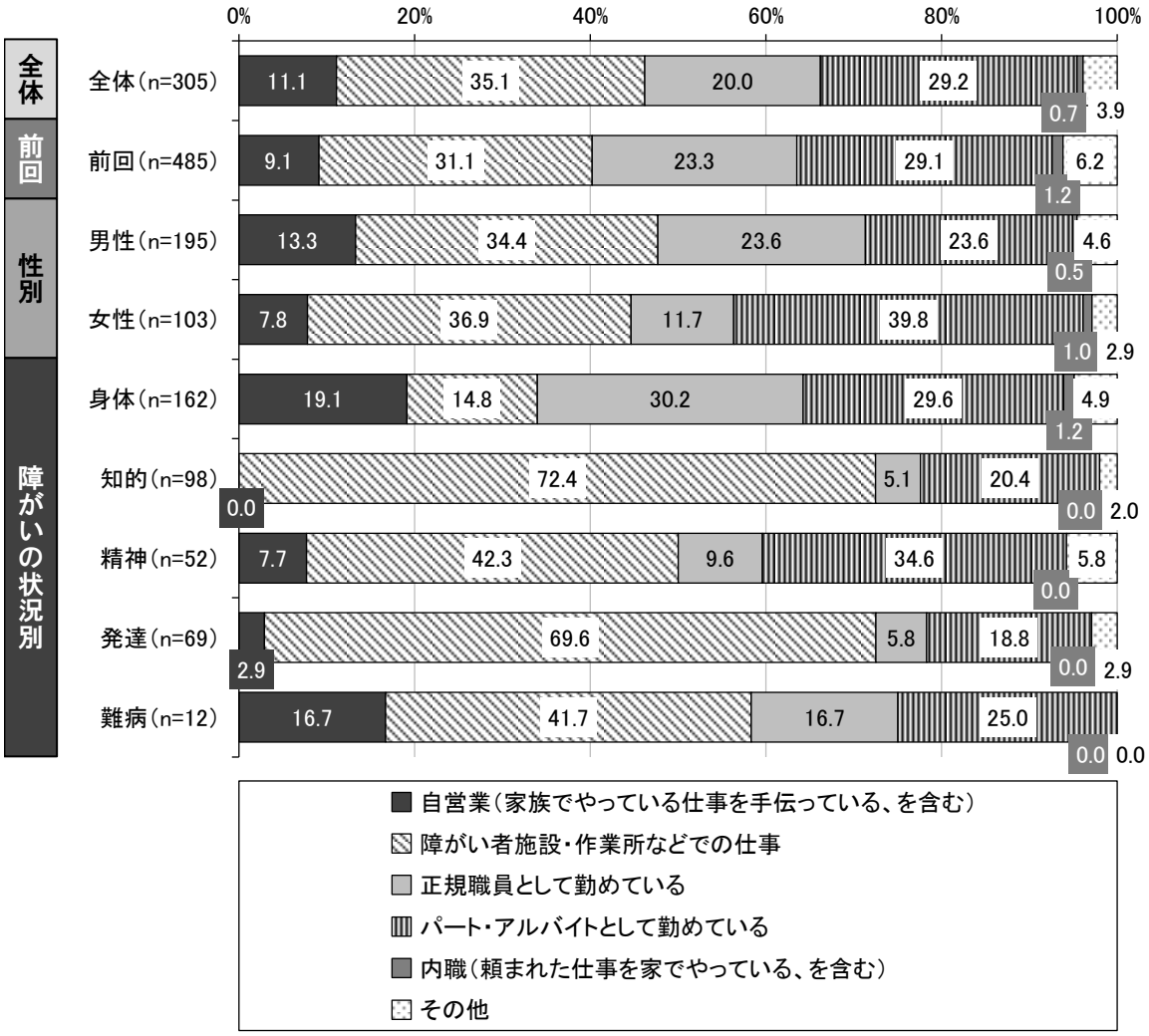
問 16-1　現在している仕事は何ですか。（あてはまるもの１つに○印を記入）

現在している仕事についてみると、全体では「障がい者施設・作業所などでの仕事」が 35.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイトとして勤めている」が 29.2%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、男性では「障がい者施設・作業所などでの仕事」、女性では「パート・アルバイトとして勤めている」がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕では「正規職員として勤めている」、〔知的〕〔精神〕〔発達〕〔難病〕では「障がい者施設・作業所などでの仕事」がそれぞれ最も高くなっています。



✔問 16 で「仕事をしている （障がい者施設・作業所など就労を目的とした施設への通所）」「仕事をしている （障がい者施設・作業所以外）」を選んだ方

問 16-2　現在している仕事について不安や不満はありますか。

（あてはまるもの３つまでに○印を記入）

現在している仕事への不安や不満についてみると、全体では「特にない」が 41.4%と最も高く、次いで「給料（お金）が少ない」が 29.3%となっています。

前回と比較すると、「リストラにあわないか不安である」が 6.4 ポイント減少しています。

性別にみると、男性では「仕事の将来性がない」が女性より 6.2 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔知的〕〔難病〕では「特にない」、〔精神〕〔発達〕では「給料（お金）が少ない」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		職場に通うのが大変である	障がいや病気の状況にあっていない	今までの経験や技術が活かせない	職場の設備や道具などが使いにくい	職場の人との関係がよくない	仕事の将来性がない	給料（お金）が少ない	仕事の時間が長い	障がいに対する思いやりや気づかいが少ない	職場の雇用形態が不安定である	現在利用している障がい者施設・作業所などが今後も利用できるか不安である	リストラにあわないか不安である	その他	特にない
全体(n=249)		9.6	5.2	6.0	1.6	7.2	12.0	29.3	5.6	7.2	7.6	13.7	8.8	7.6	41.4
前回(n=421)		9.3	5.2	3.6	2.1	8.8	10.9	29.5	7.8	9.3	7.6	10.9	15.2	5.2	37.3
性別	男性(n=159)	10.1	5.7	6.3	0.6	6.9	14.5	30.2	6.3	7.5	9.4	12.6	9.4	6.9	40.9
	女性(n=84)	8.3	4.8	6.0	3.6	7.1	8.3	28.6	3.6	6.0	4.8	15.5	8.3	9.5	41.7
障がいの状況別	身体(n=127)	7.9	3.9	6.3	1.6	7.1	10.2	20.5	6.3	7.9	5.5	8.7	7.1	6.3	51.2
	知的(n=86)	7.0	2.3	2.3	1.2	8.1	12.8	32.6	1.2	9.3	7.0	23.3	10.5	4.7	37.2
	精神(n=46)	15.2	10.9	13.0	2.2	10.9	15.2	43.5	10.9	4.3	15.2	17.4	10.9	15.2	21.7
	発達(n=61)	8.2	3.3	4.9	0.0	6.6	11.5	34.4	6.6	6.6	9.8	23.0	11.5	9.8	29.5
	難病(n=10)	20.0	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0	30.0	10.0	20.0	0.0	10.0	20.0	0.0	40.0

✔問 16 で「仕事をしている （障がい者施設・作業所など就労を目的とした施設への通所）」、「仕事をしている （障がい者施設・作業所以外）」を選んだ方

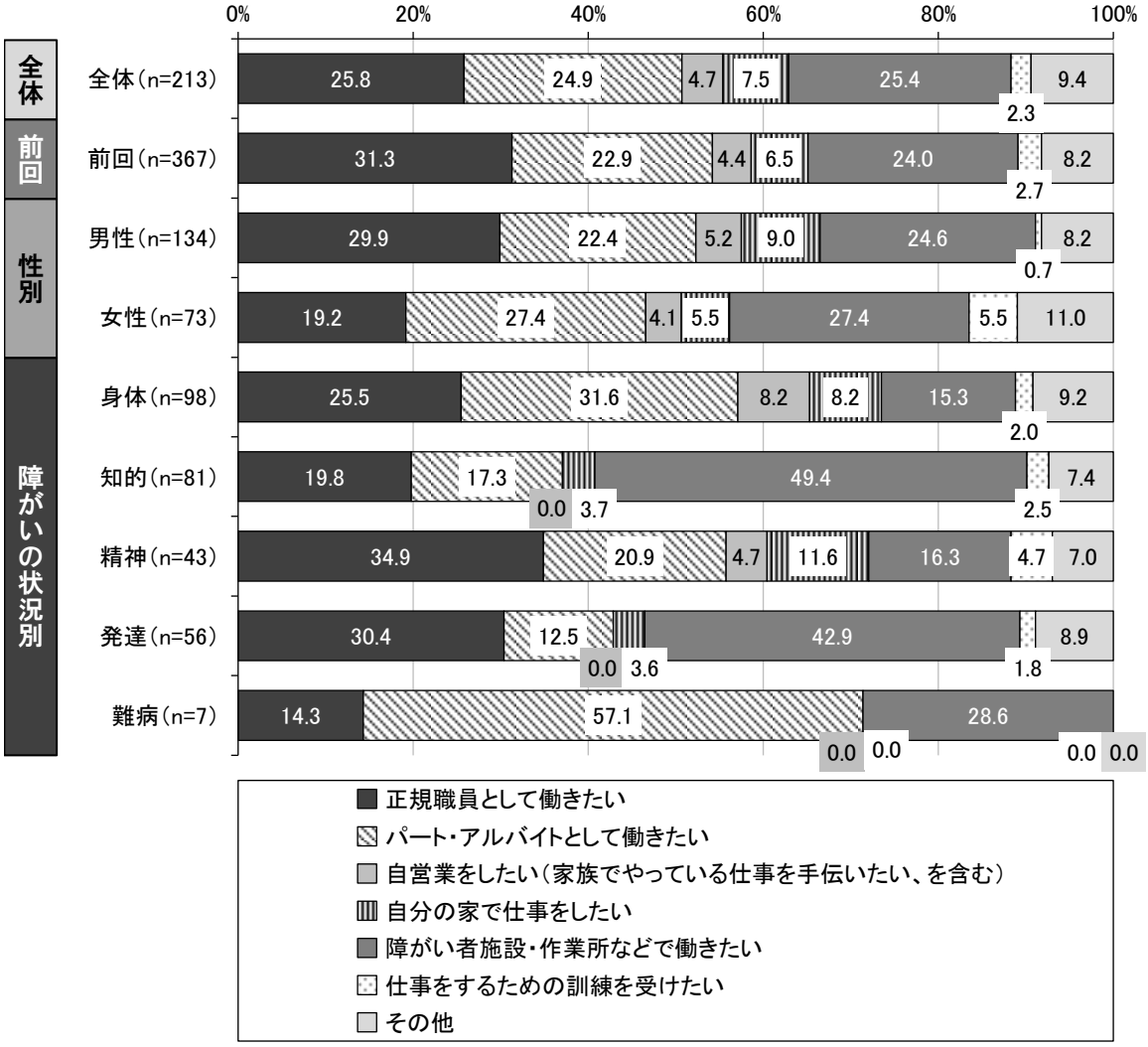
問 16-3　今後の仕事についてどのようにお考えですか。（あてはまるもの１つに○印を記入）

今後の仕事についてどのように考えているかについてみると、全体では「正規職員として働きたい」が 25.8%と最も高く、次いで「障がい者施設・作業所などで働きたい」が 25.4%となっています。

前回と比較すると、「正規職員として働きたい」が 5.5 ポイント減少しています。

性別にみると、男性では「正規職員として働きたい」、女性では「パート・アルバイトとして働きたい」「障がい者施設・作業所などで働きたい」がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔難病〕では「パート・アルバイトとして働きたい」、〔知的〕〔発達〕では「障がい者施設・作業所などで働きたい」、〔精神〕では「正規職員として働きたい」がそれぞれ最も高くなっています。



✔問 16 で「以前は仕事をしていたが今は仕事をしていない」を選んだ方

問 16-4　仕事を辞めた理由は何ですか。（あてはまるもの上位５つまでに○印を記入）

仕事を辞めた理由についてみると、全体では「定年退職や雇用期間の満了、結婚、引っ越しなどがあったから」が 42.1%と最も高く、次いで「障がいが重くなり、仕事を続けられなくなったから」が 26.4%となっています。

前回と比較すると、「病気がちになったから」が 7.9 ポイント減少しています。

性別にみると、男性では「定年退職や雇用期間の満了、結婚、引っ越しなどがあったから」が女性より 11.5 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕では「定年退職や雇用期間の満了、結婚、引っ越しなどがあったから」、〔知的〕〔発達〕では「職場の人とのコミュニケーションがうまくとれなかったから」、〔精神〕〔難病〕では「障がいが重くなり、仕事を続けられなくなったから」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		もっと希望にあう職場が見つかったから	病気がちになったから	障がいが重くなり、仕事を続けられなくなったから	リストラにあったから	仲間ができず、孤独だったから	職場の人とのコミュニケーションがうまくとれなかったから	障がいを理解してもらえず、職場の人からいやな思いをさせられたから	仕事をする日数や時間が希望より長かったから	仕事をする日数や時間が希望より短かったから	障がいにあった仕事をやらせてもらえなかったから
全体(n=356)		2.2	19.4	26.4	2.5	4.2	7.9	4.8	3.4	0.6	2.8
前回(n=469)		1.1	27.3	28.6	5.5	3.8	8.1	6.8	3.0	1.1	4.7
性別	男性(n=158)	1.9	18.4	28.5	1.9	2.5	7.6	3.2	3.8	0.6	3.8
	女性(n=191)	2.6	20.4	25.1	3.1	5.8	8.4	5.8	2.6	0.5	1.6
障がいの状況別	身体(n=285)	2.1	16.5	23.9	2.5	1.8	3.9	1.8	3.2	0.4	2.1
	知的(n=14)	0.0	7.1	14.3	0.0	21.4	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0
	精神(n=55)	3.6	38.2	49.1	3.6	16.4	25.5	16.4	5.5	1.8	5.5
	発達(n=15)	6.7	20.0	33.3	0.0	33.3	60.0	20.0	0.0	0.0	13.3
	難病(n=25)	4.0	36.0	48.0	0.0	4.0	12.0	4.0	8.0	4.0	4.0

単位:%		やりがいのある仕事をやらせてもらえなかったから	職場の設備や道具などが使いにくかったから	給料やボーナス、保険などの条件が悪かったから	定年退職や雇用期間の満了、結婚、引っ越しなどがあったから	その他
全体(n=356)		1.1	1.1	2.5	42.1	26.1
前回(n=469)		2.8	2.6	3.6	41.8	14.9
性別	男性(n=158)	1.3	0.6	1.9	48.1	19.6
	女性(n=191)	1.0	1.6	3.1	36.6	31.4
障がいの状況別	身体(n=285)	0.7	0.7	1.4	48.1	25.3
	知的(n=14)	7.1	7.1	7.1	28.6	21.4
	精神(n=55)	0.0	1.8	7.3	10.9	27.3
	発達(n=15)	6.7	0.0	13.3	6.7	26.7
	難病(n=25)	0.0	0.0	4.0	24.0	12.0

✔問 16 で「以前は仕事をしていたが今は仕事をしていない」「これまでに仕事をしたことがない」を選んだ方

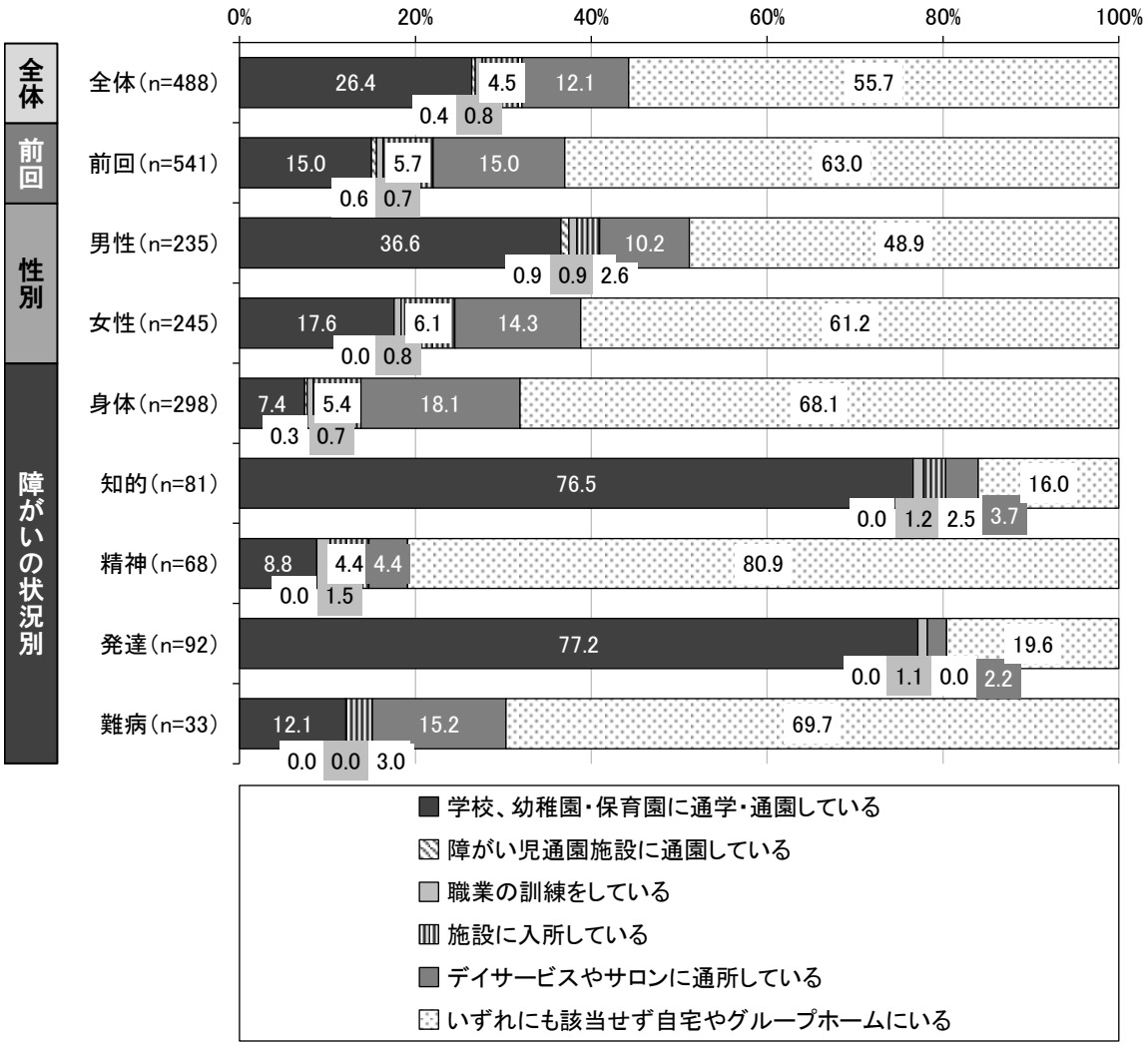
問 16-5　あなたは現在何をしていますか。（あてはまるもの１つに○印を記入）

現在何をしているかについてみると、全体では「いずれにも該当せず自宅やグループホームにいる」が 55.7%と最も高く、次いで「学校、幼稚園・保育園に通学・通園している」が 26.4%となっています。

前回と比較すると、「学校、幼稚園・保育園に通学・通園している」が 11.4 ポイント増加しています。

性別にみると、男性では「学校、幼稚園・保育園に通学・通園している」が女性より 19.0 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔精神〕〔難病〕では「いずれにも該当せず自宅やグループホームにいる」、〔知的〕〔発達〕では「学校、幼稚園・保育園に通学・通園している」がそれぞれ最も高くなっています。



✔問 16-5 で「学校、幼稚園・保育園に通学・通園している」～「職業の訓練をしている」を選んだ方

問 16-5-1　困っていること、および将来不安に思っていることは何かありますか。
（あてはまるものすべてに○印を記入）

困っていること、および将来不安に思っていることについてみると、全体では「授業についていけない」が 34.9%と最も高く、次いで「放課後・学校休日に遊べる友だちがいない」が 24.8%となっています。

前回と比較すると、「園や学校が遠い」が 19.0 ポイント減少し、「授業についていけない」が 14.2 ポイント増加しています。

性別にみると、男性では「授業についていけない」が女性より 12.6 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔知的〕では「園や学校が遠い」、〔発達〕では「授業についていけない」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		園や学校が遠い	授業についていけない	先生の理解が足りない	通常クラスに入れてもらえない	受け入れてくれる学校が少ない	トイレなどの設備が配慮されていない	学校内・園内での手助けが十分でない	放課後・学校休日に遊べる友だちがいない	放課後に過ごせる場所がない	通学・通園手段が不完全（ない）
全体(n=129)		22.5	34.9	12.4	3.1	5.4	3.9	10.9	24.8	6.2	7.8
前回(n=82)		41.5	20.7	9.8	2.4	9.8	4.9	4.9	20.7	13.4	3.7
性別	男性(n=84)	23.8	39.3	9.5	2.4	3.6	6.0	13.1	25.0	6.0	9.5
	女性(n=45)	20.0	26.7	17.8	4.4	8.9	0.0	6.7	24.4	6.7	4.4
障がいの状況別	身体(n=24)	37.5	12.5	16.7	0.0	8.3	12.5	4.2	12.5	0.0	16.7
	知的(n=60)	35.0	23.3	10.0	3.3	8.3	3.3	10.0	26.7	8.3	11.7
	精神(n=7)	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	42.9	28.6	0.0	14.3
	発達(n=68)	20.6	36.8	13.2	2.9	4.4	2.9	13.2	29.4	2.9	5.9
	難病(n=4)	75.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0

単位:%		技術が習得できない	新型コロナウイルス等の感染症	その他	特にない
全体(n=129)		5.4	10.9	12.4	22.5
前回(n=82)		6.1		18.3	20.7
性別	男性(n=84)	4.8	9.5	14.3	20.2
	女性(n=45)	6.7	13.3	8.9	26.7
障がいの状況別	身体(n=24)	0.0	12.5	20.8	20.8
	知的(n=60)	8.3	16.7	8.3	23.3
	精神(n=7)	0.0	0.0	28.6	14.3
	発達(n=68)	10.3	13.2	11.8	19.1
	難病(n=4)	0.0	25.0	0.0	0.0

※「新型コロナウイルス等の感染症」は今回調査のみの選択肢。

✔問 16-5 で「学校、幼稚園・保育園に通学・通園している」～「職業の訓練をしている」を選んだ方

問 16-5-2　卒園・卒業後のことについて何かお考えですか。（あてはまるもの１つに○印を記入）

卒園・卒業後のことについてみると、全体では「地域の小学校、中学校、高校に進学したい」が 46.3%と最も高く、次いで「特別支援学校などに進学したい」が 18.2%となっています。

前回と比較すると、「地域の小学校、中学校、高校に進学したい」が 22.2 ポイント増加し、「障がい者施設・作業所などに通所したい」が 17.2 ポイント減少しています。

性別にみると、男性では「地域の小学校、中学校、高校に進学したい」が女性より 8.9 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔知的〕では「障がい者施設・作業所などに通所したい」、〔発達〕では「地域の小学校、中学校、高校に進学したい」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		地域の小学校、中学校、高校に進学したい	特別支援学校などに進学したい	大学・専門学校などに進学したい	障がい者施設・作業所などに通所したい	就職したい	その他	特に考えていない
全体(n=121)		46.3	18.2	5.8	13.2	6.6	4.1	5.8
前回(n=79)		24.1	22.8	2.5	30.4	13.9	3.8	2.5
性別	男性(n=79)	49.4	16.5	3.8	12.7	5.1	5.1	7.6
	女性(n=42)	40.5	21.4	9.5	14.3	9.5	2.4	2.4
障がいの状況別	身体(n=23)	26.1	8.7	13.0	30.4	13.0	0.0	8.7
	知的(n=56)	25.0	28.6	0.0	26.8	7.1	7.1	5.4
	精神(n=7)	14.3	28.6	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0
	発達(n=64)	39.1	21.9	6.3	17.2	6.3	4.7	4.7
	難病(n=4)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0

✔問 16-5 で「いずれにも該当せず自宅やグループホームにいる」を選んだ方

問 16-5-3　自宅やグループホームにいる主な理由は何ですか。(あてはまるもの１つに○印を記入)

自宅やグループホームにいる主な理由についてみると、全体では「高齢のため」が 49.4%と最も高く、次いで「仕事ができる健康状態にないため」が 26.4%となっています。

前回と比較すると、「高齢のため」が 7.2 ポイント増加しています。

性別にみると、いずれも「高齢のため」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕では「高齢のため」、〔知的〕では「高齢のため」「働きたくないため」、〔精神〕〔難病〕では「仕事ができる健康状態にないため」、〔発達〕では「仕事ができる健康状態にないため」「働きたくないため」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		幼稚園・保育園、学校に通う年齢に達していないため	幼稚園・保育園、学校に通う健康状態にないため	入所・通所できる施設がないため	障がいや病気の状況にあった仕事がないため	仕事ができる健康状態にないため	高齢のため	家事を手伝うため	移動・交通手段がないため	その他	働きたくないため
全体(n=231)		0.9	0.0	0.0	6.5	26.4	49.4	3.9	0.0	8.2	4.8
前回(n=294)		0.3	0.0	1.7	8.5	26.9	42.2	7.1	0.0	9.5	3.7
性別	男性(n=99)	2.0	0.0	0.0	5.1	29.3	47.5	1.0	0.0	10.1	5.1
	女性(n=127)	0.0	0.0	0.0	7.9	25.2	49.6	5.5	0.0	7.1	4.7
障がいの状況別	身体(n=172)	0.0	0.0	0.0	5.2	21.5	59.9	3.5	0.0	6.4	3.5
	知的(n=10)	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	20.0	10.0	0.0	30.0	20.0
	精神(n=47)	0.0	0.0	0.0	8.5	53.2	12.8	2.1	0.0	12.8	10.6
	発達(n=15)	0.0	0.0	0.0	13.3	33.3	13.3	0.0	0.0	6.7	33.3
	難病(n=17)	0.0	0.0	0.0	5.9	41.2	29.4	5.9	0.0	11.8	5.9

✔ 問 16-5 で「いずれにも該当せず自宅やグループホームにいる」を選んだ方

問 16-5-4　今後の就労や就学についてどのようにお考えですか。

（あてはまるもの１つに○印を記入）

今後の就労や就学についてどのように考えているかについてみると、全体では「働く気や進学する気にならない」が 24.2%と最も高く、次いで「働いたり進学することができない」が 18.2%となっています。

前回と比較すると、「自宅で仕事をしたい」が 6.0 ポイント減少しています。

性別にみると、男性では「働いたり進学することができない」、女性では「働く気や進学する気にならない」がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕では「働いたり進学することができない」、〔精神〕〔発達〕では「働く気や進学する気にならない」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		正規職員として働きたい	パート・アルバイトとして働きたい	自営業をしたい（家族でやっている仕事を手伝いたい、を含む）	自宅で仕事をしたい	障がい者施設・作業所等で働きたい	仕事をするための訓練を受けたい	地域の学校に進学したい	特別支援学校などに進学したい	大学・専門学校などに進学したい	働く気や進学する気にならない	その他	働いたり進学することができない
全体(n=99)		7.1	13.1	1.0	12.1	4.0	2.0	1.0	0.0	0.0	24.2	17.2	18.2
前回(n=94)		10.6	16.0	0.0	18.1	6.4	1.1	0.0	0.0	1.1	19.1	12.8	14.9
性別	男性(n=36)	13.9	5.6	2.8	13.9	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	13.9	27.8	19.4
	女性(n=62)	3.2	17.7	0.0	11.3	6.5	3.2	0.0	0.0	0.0	29.0	11.3	17.7
障がいの状況別	身体(n=58)	3.4	6.9	1.7	13.8	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	19.0	24.1	27.6
	知的(n=7)	28.6	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6
	精神(n=35)	8.6	22.9	0.0	8.6	11.4	0.0	0.0	0.0	0.0	34.3	8.6	5.7
	発達(n=11)	18.2	18.2	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	9.1	0.0
	難病(n=9)	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4	11.1	33.3

問 17　あなたが就労をしたり働き続けるためには、どのような支援が必要だと思いますか。
（あてはまるもの上位３つまでに○印を記入）

就労をしたり働き続けるために必要な支援についてみると、全体では「働きやすい職場環境づくりの指導」が 31.8%と最も高く、次いで「特にない」が 28.4%となっています。

前回と比較すると、「特にない」が 10.3 ポイント減少しています。

性別にみると、男性では「就労に関する総合相談」が女性より 5.7 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕では「特にない」、〔知的〕では「働きやすい職場環境づくりの指導」、〔精神〕〔発達〕では「就職後の支援・相談」、〔難病〕では「就労に関する総合相談」「働きやすい職場環境づくりの指導」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		就労に関する総合相談	働きやすい職場環境づくりの指導	就労のための職業訓練	就職先のあっ旋・紹介	就職後の支援・相談	企業ニーズに合った就労支援	段差やしきりをなくすなど、設備を利用しやすくする	障がい者用トイレや障がい者用駐車場の設置	道路や公共交通機関など、移動しやすくする	在宅勤務の拡充	その他	特にない
全体(n=647)		27.4	31.8	16.7	21.5	27.7	6.8	7.0	7.4	10.5	14.5	6.2	28.4
前回(n=137)		32.1	29.9	8.8	24.1	24.8		8.0	8.8	9.5		2.9	38.7
性別	男性(n=357)	30.0	32.5	19.0	22.4	29.1	9.0	6.2	7.0	10.1	12.9	6.2	29.1
	女性(n=280)	24.3	31.8	13.6	21.1	26.1	4.3	8.2	7.1	10.7	16.4	6.4	27.5
障がいの状況別	身体(n=349)	19.2	23.5	9.5	16.0	14.0	6.3	11.7	11.5	11.7	15.5	6.9	38.7
	知的(n=162)	38.9	46.9	27.8	27.2	46.3	11.1	4.3	1.9	8.6	7.4	6.8	14.8
	精神(n=109)	31.2	33.9	19.3	26.6	38.5	4.6	0.9	4.6	10.1	25.7	4.6	15.6
	発達(n=147)	44.2	51.0	33.3	28.6	58.5	9.5	1.4	0.7	7.5	10.2	6.1	9.5
	難病(n=38)	31.6	31.6	15.8	23.7	21.1	13.2	18.4	26.3	10.5	15.8	7.9	15.8

※「企業ニーズに合った就労支援」「在宅勤務の拡充」は今回調査のみの選択肢。

４　スポーツ・レクリエーションのことについて

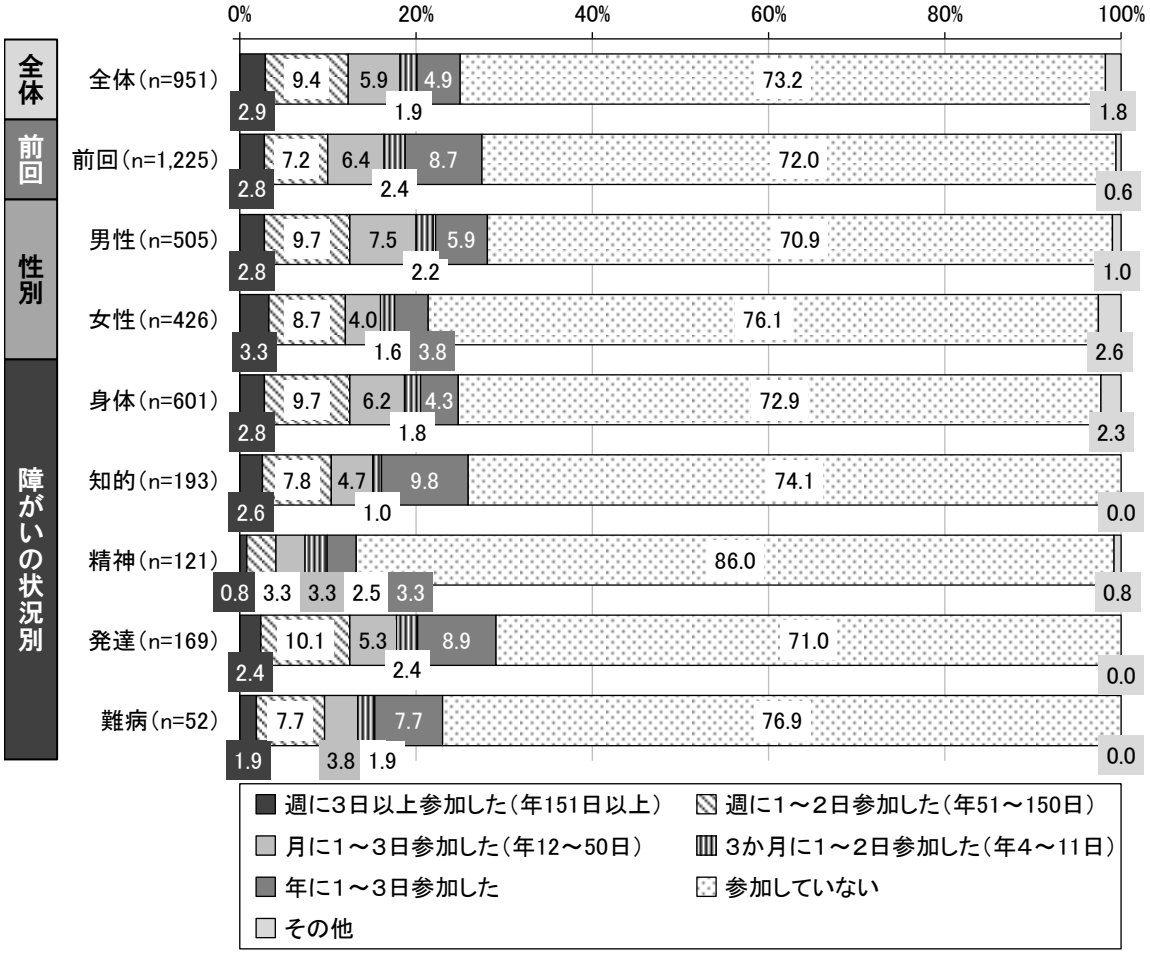
問 18　あなたは、過去１年間にスポーツ・レクリエーションに参加しましたか。
（あてはまるもの１つに○印を記入）

過去１年間のスポーツ・レクリエーションの参加頻度についてみると、全体では「参加していない」が 73.2%と最も高く、次いで「週に１～２日参加した（年 51～150 日）」が 9.4%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、女性では「参加していない」が男性より 5.2 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「参加していない」が最も高くなっています。



問 19　あなたが、今後やってみたいスポーツ・レクリエーションはどういったものですか。
（あてはまるものすべてに○印を記入）

今後やってみたいスポーツ・レクリエーションについてみると、全体では「健康維持のためのスポーツ・レクリエーション」が 36.3%と最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーションをやってみたいと思わない」が 34.3%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、男性では「健康維持のためのスポーツ・レクリエーション」、女性では「スポーツ・レクリエーションをやってみたいと思わない」がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕では「健康維持のためのスポーツ・レクリエーション」、〔知的〕では「体力づくりのためのスポーツ・レクリエーション」「健康維持のためのスポーツ・レクリエーション」、〔精神〕〔難病〕では「スポーツ・レクリエーションをやってみたいと思わない」、〔発達〕では「体力づくりのためのスポーツ・レクリエーション」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		パラスポーツのような競技スポーツ	体力づくりのためのスポーツ・レクリエーション	健康維持のためのスポーツ・レクリエーション	自分自身の生きがいのためのスポーツ・レクリエーション	障がいの有無にかかわらず交流のためのスポーツ・レクリエーション	その他	スポーツ・レクリエーションをやってみたいと思わない
全体（n=859）		4.9	23.7	36.3	24.1	12.8	6.6	34.3
前回（n=1,094）		5.2	24.3	41.0	24.5	15.3	3.6	33.3
性別	男性（n=466）	6.4	25.1	36.5	26.2	13.7	6.9	30.0
	女性（n=376）	2.9	21.8	35.9	21.3	11.7	6.4	40.2
障がいの状況別	身体（n=528）	3.6	19.1	40.0	22.5	12.1	6.4	35.8
	知的（n=180）	12.8	31.7	31.7	22.2	19.4	6.7	27.2
	精神（n=113）	1.8	23.0	31.0	21.2	9.7	6.2	46.0
	発達（n=161）	9.9	34.8	30.4	26.7	18.0	5.6	28.0
	難病（n=46）	6.5	21.7	32.6	21.7	10.9	2.2	39.1

問 20　あなたが、スポーツ・レクリエーションへ参加するにあたって、参加しづらいと感じる理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○印を記入）

スポーツ・レクリエーションへ参加しづらいと感じる理由についてみると、全体では「わからない」が 23.3%と最も高く、次いで「仲間がいない」が 20.9%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「わからない」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔知的〕では「わからない」、〔精神〕〔発達〕では「仲間がいない」、〔難病〕では「仲間がいない」「障がいに適したスポーツ・レクリエーションがない」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		交通手段・移動手段がない	スポーツ・レクリエーションをできる場所がない	施設がバリアフリーでない	施設に利用を断られる	スポーツ・レクリエーションについての情報が入手しにくい	介助者がいない	仲間がいない	金銭的な余裕がない	障がいに適したスポーツ・レクリエーションがない	その他	参加しづらいと感じたことはない	わからない
全体(n=832)		15.6	6.4	1.9	1.0	16.5	9.1	20.9	14.2	13.1	14.3	12.4	23.3
前回(n=1,062)		16.3	6.8	2.4	0.8	16.6	8.1	21.2	13.5	14.9	10.1	15.5	23.5
性別	男性(n=454)	13.4	6.2	2.2	1.8	18.7	9.3	19.8	13.9	14.3	12.3	13.2	24.2
	女性(n=360)	17.8	6.7	1.4	0.0	14.4	8.9	22.5	14.2	11.9	16.1	11.1	22.5
障がいの状況別	身体(n=502)	15.1	5.0	2.8	0.6	12.4	8.6	16.7	10.6	13.5	15.5	13.9	23.1
	知的(n=174)	21.3	8.0	0.6	2.3	25.3	16.7	24.1	14.4	19.5	9.8	6.9	27.6
	精神(n=118)	17.8	12.7	2.5	2.5	21.2	10.2	38.1	32.2	9.3	17.8	7.6	11.9
	発達(n=161)	18.0	10.6	0.6	3.1	25.5	13.7	34.8	20.5	16.8	14.9	9.3	16.8
	難病(n=46)	21.7	8.7	2.2	0.0	17.4	15.2	28.3	17.4	28.3	13.0	2.2	13.0

5　災害時のことについて

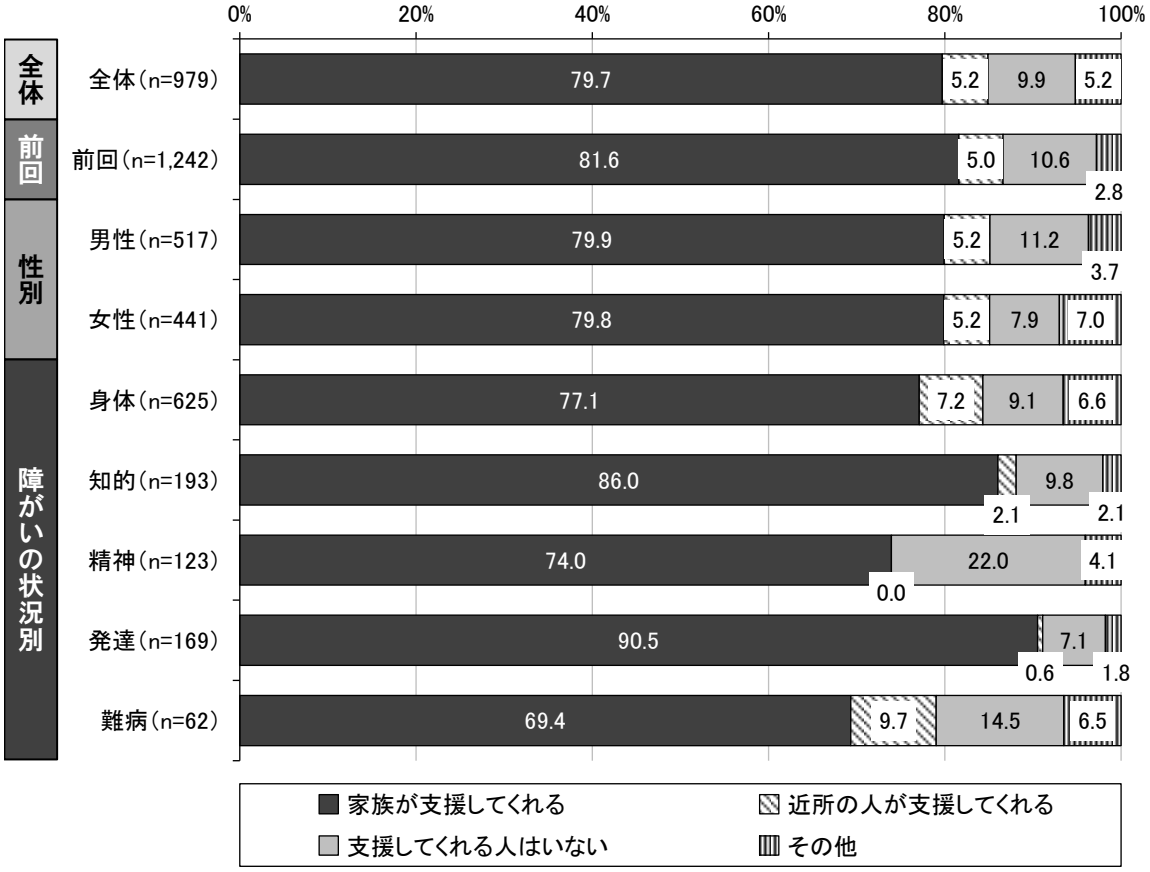
問 21　火事や地震などの災害が起きた場合に、家族や近所の人などあなたを支援してくれる人はいますか。（あてはまるもの１つに○印を記入）

災害が起きた場合に支援してくれる人の有無についてみると、全体では「家族が支援してくれる」が79.7%と最も高く、次いで「支援してくれる人はいない」9.9%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「家族が支援してくれる」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「家族が支援してくれる」が最も高くなっています。



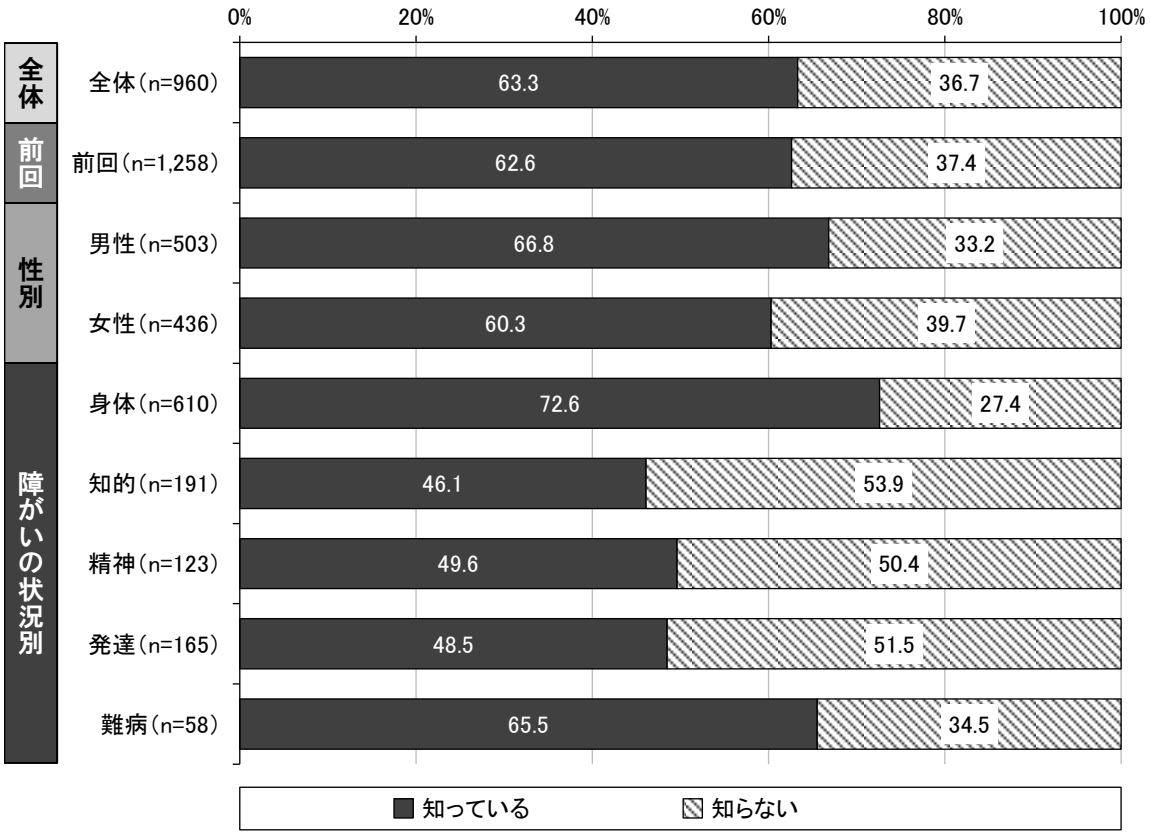
問 22　あなたは、一次避難所を知っていますか。（あてはまるもの１つに○印を記入）

一次避難所の認知度についてみると、全体では「知っている」が 63.3%、「知らない」が 36.7%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、男性では「知っている」が女性より 6.5 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔難病〕では「知っている」、〔知的〕〔精神〕〔発達〕では「知らない」がそれぞれ高くなっています。



問 23　火事や地震などの災害が発生したときに、あなたはどのようなことが困ると思いますか。
（あてはまるものすべてに○印を記入）

災害発生時に困ることについてみると、全体では「安全なところまですばやく避難できない」が 44.4%と最も高く、次いで「どのように対応すべきか判断できない」が 38.3%となっています。

前回と比較すると、「避難場所で、治療（必要な薬をもらうことを含む）を受けることが難しい」が 6.8 ポイント減少しています。

性別にみると、女性では「安全なところまですばやく避難できない」が男性より 8.8 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔難病〕では「安全なところまですばやく避難できない」、〔知的〕〔発達〕では「どのように対応すべきか判断できない」、〔精神〕では「どのように対応すべきか判断できない」」「避難場所で、その場や人になじむことができない」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		何が起こっているのか把握できない	どのように対応すべきか判断できない	周りの人に介助を求めることができない	安全なところまですばやく避難できない	避難場所で、その場や人になじむことができない	避難場所で、被害状況や支援物資などの情報が入手できない	避難場所で、治療（必要な薬をもらうことを含む）を受けることが難しい	避難場所の障がい者用トイレ・避難路など障がいのある人が生活できる環境が整っていない	その他	特に困ることはない
全体（n=960）		29.8	38.3	20.6	44.4	24.7	23.0	30.6	23.4	6.1	17.1
前回（n=1,250）		26.7	36.3	20.8	44.8	25.7	20.7	37.4	23.3	5.6	18.2
性別	男性（n=513）	31.0	39.4	19.7	40.5	26.3	24.6	27.3	21.4	4.9	20.1
	女性（n=426）	29.3	37.8	22.3	49.3	22.5	21.4	35.0	26.3	7.5	13.1
障がいの状況別	身体（n=608）	23.0	25.2	14.8	46.7	11.3	16.4	31.9	28.9	6.4	19.4
	知的（n=195）	56.4	73.3	43.1	54.9	49.2	45.1	35.4	24.6	3.6	9.2
	精神（n=123）	26.0	47.2	24.4	29.3	47.2	20.3	39.0	9.8	9.8	9.8
	発達（n=170）	48.8	68.8	35.3	46.5	52.9	40.0	30.0	18.8	5.9	7.6
	難病（n=62）	24.2	29.0	24.2	72.6	21.0	21.0	46.8	40.3	3.2	4.8

問 24　あなたは、火事や地震などの災害に備えて、していることはありますか。
（あてはまるものすべてに○印を記入）

災害に備えてしていることについてみると、全体では「特に何もしていない」が 53.2%と最も高く、次いで「常備薬や食料・水などを用意している」が 36.0%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、女性では「常備薬や食料・水などを用意している」が男性より 6.3 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔知的〕〔精神〕〔発達〕では「特に何もしていない」、〔難病〕では「常備薬や食料・水などを用意している」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		普段から民生委員・児童委員や近所の人に自分の障がいの特性を理解してもらっている	常備薬や食料・水などを用意している	救助を求める笛やブザーなどを用意している	地域の防災訓練などに参加している	避難方法を具体的に準備している	自分の障がいの特性などを書いた支援ノートを持っている	その他	特に何もしていない
全体(n=976)		6.0	36.0	7.1	8.3	3.1	5.4	2.8	53.2
前回(n=1,245)		7.3	32.5	5.4	10.0	4.0	4.5	1.8	54.2
性別	男性(n=513)	5.7	33.1	5.3	9.7	3.7	6.0	1.9	55.0
	女性(n=442)	6.8	39.4	8.8	7.0	2.5	5.0	3.4	50.9
障がいの状況別	身体(n=622)	6.9	38.7	7.7	10.8	3.7	7.1	3.1	48.7
	知的(n=194)	7.2	29.9	3.1	2.6	3.1	5.7	2.1	60.8
	精神(n=123)	3.3	34.1	6.5	4.1	1.6	3.3	4.9	58.5
	発達(n=169)	5.9	35.5	4.1	5.3	1.8	5.3	2.4	55.6
	難病(n=58)	13.8	46.6	8.6	5.2	10.3	13.8	1.7	44.8

6　障がい福祉サービスについて

問 25（１）現在利用中のサービスは次のどれですか。

現在利用しているサービスについてみると、全体では「放課後等デイサービス」が 28.9%と最も高く、次いで「相談支援」が 19.9%となっています。

前回と比較すると、「放課後等デイサービス」が 12.6 ポイント、「児童発達支援」が 9.2 ポイントそれぞれ増加しています。

前回と比較すると、「居宅介護（ホームヘルプ）」が 4.9 ポイント、「短期入所（ショートステイ）」が 3.8 ポイント、「就労継続支援（Ａ型、Ｂ型）」が 3.3 ポイントそれぞれ減少しています。

性別にみると、男性では「放課後等デイサービス」が女性より 9.7 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔精神〕〔難病〕では「現在、利用していない」、〔知的〕〔発達〕では「放課後等デイサービス」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		居宅介護（ホームヘルプ）	重度訪問介護	同行援護	行動援護	生活介護	重度障害者等包括支援	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	宿泊型自立訓練	療養介護	施設入所支援	共同生活援助（グループホーム）	自立生活援助
全体(n=256)		17.2	2.3	3.1	5.9	10.5	1.2	4.7	0.0	0.8	2.0	5.1	0.4
前回(n=349)		22.1	4.0	5.4	6.6	13.8	4.6	6.9		1.7	6.3	6.0	
性別	男性(n=229)	9.2	1.7	3.1	5.2	7.9	0.4	2.6	0.0	0.9	0.9	3.1	0.4
	女性(n=183)	12.0	1.1	0.5	1.6	4.9	1.1	3.3	0.0	0.0	1.6	3.3	0.0
障がいの状況別	身体(n=188)	14.4	2.7	3.7	2.1	8.0	1.6	4.8	0.0	0.5	1.6	2.7	0.0
	知的(n=127)	16.5	1.6	0.8	10.2	13.4	0.8	0.0	0.0	0.8	2.4	5.5	0.8
	精神(n=69)	7.2	0.0	0.0	1.4	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	1.4	1.4	0.0
	発達(n=121)	10.7	0.0	0.0	8.3	8.3	0.8	0.8	0.0	0.8	1.7	2.5	0.0
	難病(n=29)	27.6	6.9	10.3	3.4	3.4	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

単位：%		短期入所（ショートステイ）	就労移行支援	就労継続支援（Ａ型、Ｂ型）	就労定着支援	相談支援	地域定着支援	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	居宅訪問型児童発達支援	保育所等訪問支援
全体(n=256)		13.7	3.5	19.9	0.8	19.9	0.0	15.2	1.2	28.9	0.0	2.3
前回(n=349)		17.5	5.4	23.2		22.3		6.0	0.9	16.3	0.3	0.6
性別	男性(n=229)	11.4	2.2	11.4	0.4	11.8	0.0	11.8	0.9	22.3	0.0	2.2
	女性(n=183)	4.9	2.2	12.6	0.5	13.1	0.0	6.6	0.5	12.6	0.0	0.5
障がいの状況別	身体(n=188)	11.2	0.0	2.7	0.0	6.9	0.0	0.5	0.0	6.9	0.0	0.5
	知的(n=127)	15.7	5.5	23.6	0.0	27.6	0.0	14.2	1.6	30.7	0.0	2.4
	精神(n=69)	4.3	4.3	21.7	2.9	14.5	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0
	発達(n=121)	9.9	5.0	18.2	1.7	22.3	0.0	10.7	2.5	37.2	0.0	0.8
	難病(n=29)	10.3	3.4	10.3	0.0	13.8	0.0	0.0	0.0	13.8	0.0	0.0

※「宿泊型自立訓練」「自立生活援助」「就労定着支援」「地域定着支援」は今回調査のみの選択肢。

問 25（２）今後３年以内に利用したいサービスはどれですか。

今後３年以内に利用したいサービスについてみると、全体では「放課後等デイサービス」が 22.7%と最も高く、次いで「相談支援」が 18.8%となっています。

前回と比較すると、「放課後等デイサービス」が 12.9 ポイント、「児童発達支援」が 6.1 ポイントそれぞれ増加しています。

前回と比較すると、「居宅介護（ホームヘルプ）」が 18.0 ポイント、「相談支援」が 11.7 ポイントそれぞれ減少しています。

性別にみると、男性では「放課後等デイサービス」が女性より 10.3 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕では「短期入所（ショートステイ）」、〔精神〕では「就労継続支援（Ａ型、Ｂ型）」〔難病〕では「居宅介護（ホームヘルプ）」「自立生活援助」「短期入所（ショートステイ）」、〔知的〕〔発達〕では「放課後等デイサービス」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		居宅介護（ホームヘルプ）	重度訪問介護	同行援護	行動援護	生活介護	重度障害者等包括支援	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	宿泊型自立訓練	療養介護	施設入所支援	共同生活援助（グループホーム）	自立生活援助
全体（n=229）		11.4	2.2	4.4	3.9	9.6	1.7	7.0	2.6	2.6	7.0	9.6	7.9
前回（n=439）		29.4	4.8	9.1	13.4	16.9	5.5	13.2		5.7	12.8	16.6	
性別	男性（n=184）	7.6	1.6	3.8	2.7	6.0	0.5	4.9	1.1	2.2	4.3	7.1	5.4
	女性（n=153）	7.8	1.3	2.0	2.0	7.2	2.0	4.6	2.6	1.3	4.6	5.9	5.2
障がいの状況別	身体（n=163）	12.9	3.1	4.9	1.2	10.4	2.5	6.7	1.2	3.7	7.4	5.5	6.1
	知的（n=91）	5.5	1.1	2.2	5.5	5.5	1.1	4.4	3.3	0.0	4.4	15.4	6.6
	精神（n=59）	3.4	1.7	0.0	3.4	3.4	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	5.1	5.1
	発達（n=89）	3.4	1.1	0.0	3.4	5.6	1.1	4.5	2.2	0.0	3.4	10.1	7.9
	難病（n=23）	17.4	8.7	4.3	0.0	13.0	4.3	8.7	4.3	0.0	4.3	4.3	17.4

単位：%		短期入所（ショートステイ）	就労移行支援	就労継続支援（Ａ型、Ｂ型）	就労定着支援	相談支援	地域定着支援	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	居宅訪問型児童発達支援	保育所等訪問支援
全体（n=229）		16.2	5.2	10.9	4.8	18.8	1.3	10.0	1.7	22.7	0.9	2.6
前回（n=439）		23.7	11.2	20.7		30.5		3.9	1.6	9.8	0.9	0.7
性別	男性（n=184）	9.2	3.3	7.1	1.6	13.0	0.5	7.6	0.5	20.1	1.1	1.1
	女性（n=153）	13.1	3.9	7.8	4.6	12.4	1.3	5.9	2.0	9.8	0.0	2.6
障がいの状況別	身体（n=163）	14.1	1.8	3.7	1.2	11.7	0.0	0.6	0.0	3.1	0.0	0.6
	知的（n=91）	17.6	6.6	8.8	6.6	12.1	2.2	11.0	3.3	30.8	2.2	2.2
	精神（n=59）	5.1	5.1	20.3	6.8	18.6	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	発達（n=89）	10.1	9.0	10.1	4.5	14.6	1.1	10.1	3.4	28.1	1.1	1.1
	難病（n=23）	17.4	4.3	4.3	4.3	13.0	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	0.0

※「宿泊型自立訓練」「自立生活援助」「就労定着支援」「地域定着支援」は今回調査のみの選択肢。

問 26（１）現在利用中のサービスは次のどれですか。

現在利用しているサービスについてみると、全体では「医療費の助成」が 48.1%と最も高く、次いで「手当・年金等」が 46.1%となっています。

前回と比較すると、「重度心身障がい者（児）等自動車燃料費・福祉タクシー運賃助成」が 4.6 ポイント、「移動支援」「手当・年金等」が 3.7 ポイントそれぞれ増加しています。

前回と比較すると、「公共料金の割引」が 6.6 ポイント、「日常生活の用具給付」が 3.5 ポイントそれぞれ減少しています。

性別にみると、男性では「手当・年金等」、女性では「医療費の助成」がそれぞれ最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕では「医療費の助成」、〔知的〕〔発達〕では「手当・年金等」、〔精神〕では「自立支援医療費の給付」、〔難病〕では「医療費の助成」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		日中一時支援	訪問入浴	補装具の交付・修理	自立支援医療費の給付	医療費の助成	日常生活用具の給付	紙おむつ購入費の助成	住宅改造費の助成	緊急通報システム機器設置費用の助成	移動支援	自動車運転免許証取得費の助成
全体(n=349)		12.3	4.3	12.3	17.8	48.1	6.6	11.5	2.3	1.1	10.6	0.3
前回(n=681)		11.9	4.1	15.7	16.3	45.8	10.1	10.4	4.8	1.2	6.9	0.3
性別	男性(n=244)	10.2	3.7	10.2	11.1	32.4	4.5	10.2	0.4	1.2	8.6	0.0
	女性(n=228)	7.9	2.6	7.9	14.5	39.0	5.3	6.6	3.1	0.4	7.0	0.4
障がいの状況別	身体(n=246)	6.1	5.7	17.1	3.3	43.9	9.3	12.6	3.3	1.6	4.9	0.0
	知的(n=125)	25.6	4.0	9.6	4.8	37.6	7.2	13.6	0.8	0.0	20.0	0.8
	精神(n=75)	2.7	0.0	0.0	64.0	32.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0
	発達(n=116)	20.7	1.7	5.2	19.0	31.0	4.3	8.6	0.9	0.0	10.3	0.9
	難病(n=31)	9.7	16.1	12.9	6.5	58.1	9.7	22.6	12.9	3.2	9.7	0.0

単位:%		自動車改造費の助成	重度心身障がい者（児）等自動車燃料費・福祉タクシー運賃助成	手当・年金等	税の優遇	公共料金の割引	成年後見制度	地域福祉権利擁護事業	手話通訳者の派遣	要約筆記者の派遣	盲ろう通訳・介助者の派遣
全体(n=349)		0.3	30.4	46.1	34.7	26.4	0.9	0.3	0.6	0.6	0.3
前回(n=681)		2.3	25.8	42.4	37.2	33.0	1.6	0.9			
性別	男性(n=244)	0.4	24.6	33.6	25.4	22.5	0.4	0.0	0.4	0.4	0.4
	女性(n=228)	0.0	19.7	33.8	25.9	16.2	0.9	0.4	0.4	0.4	0.0
障がいの状況別	身体(n=246)	0.4	33.7	28.5	35.4	25.2	0.4	0.0	0.8	0.8	0.4
	知的(n=125)	0.0	28.8	53.6	20.8	20.0	1.6	0.8	0.0	0.0	0.0
	精神(n=75)	0.0	2.7	48.0	16.0	14.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	発達(n=116)	0.0	15.5	45.7	13.8	15.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病(n=31)	0.0	48.4	48.4	41.9	22.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2

※「手話通訳者の派遣」「要約筆記者の派遣」「盲ろう通訳・介助者の派遣」は今回調査のみの選択肢。

問 26（２）今後３年以内に利用したいサービスはどれですか。

今後３年以内に利用したいサービスについてみると、全体では「現在、利用していない」が 26.3%と最も高く、次いで「医療費の助成」が 25.0%となっています。

性別にみると、女性では「公共料金の割引」が男性より 7.5 ポイント高くなっています。

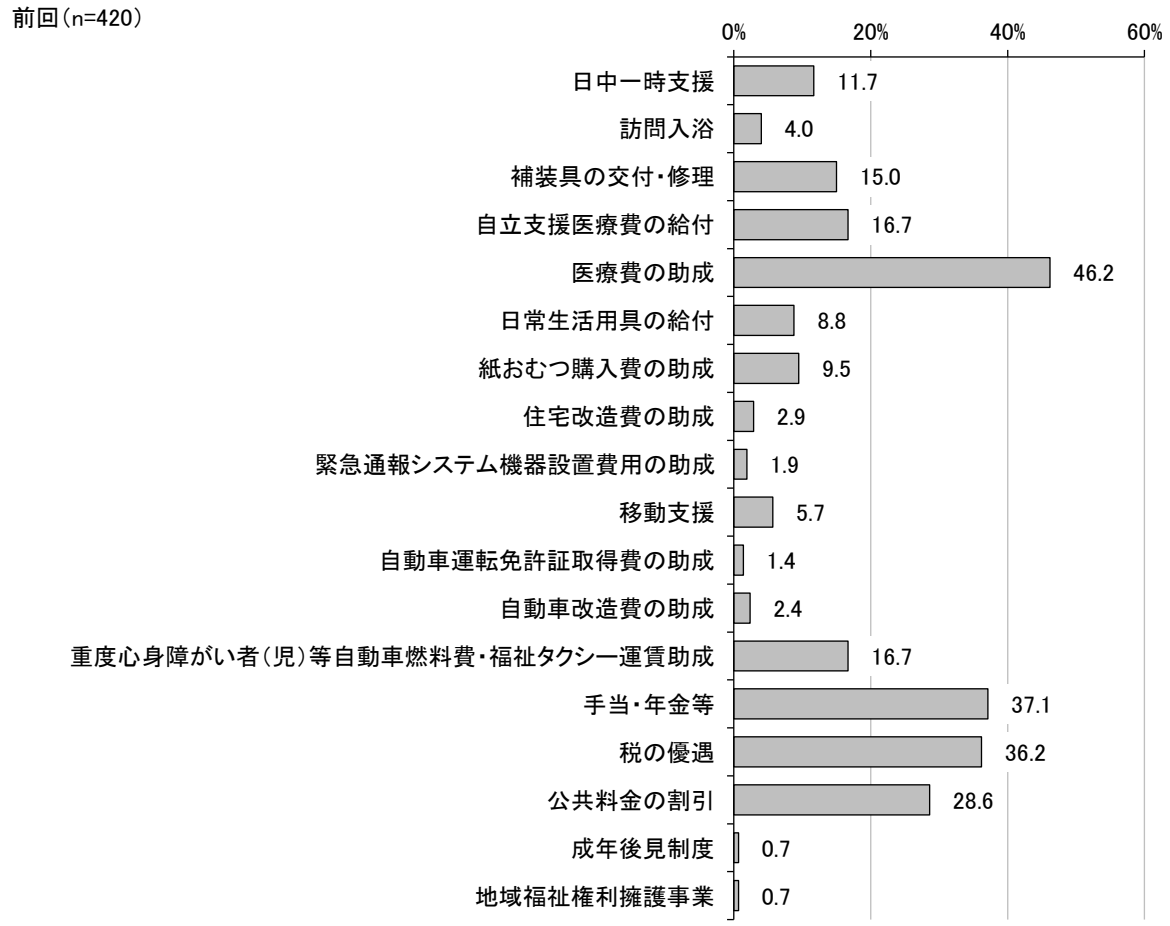
障がいの状況別にみると、〔身体〕では「医療費の助成」、〔知的〕では「手当・年金等」、〔精神〕では「自立支援医療費の給付」、〔発達〕では「手当・年金等」「現在、利用していない」、〔難病〕では「移動支援」「重度心身障がい者（児）等自動車燃料費・福祉タクシー運賃助成」「公共料金の割引」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		日中一時支援	訪問入浴	補装具の交付・修理	自立支援医療費の給付	医療費の助成	日常生活用具の給付	紙おむつ購入費の助成	住宅改造費の助成	緊急通報システム機器設置費用の助成	移動支援	自動車運転免許証取得費の助成
全体(n=300)		9.3	3.3	8.0	10.3	25.0	6.7	7.0	6.7	6.7	12.7	1.3
性別	男性(n=160)	8.1	0.6	8.1	10.0	25.0	5.6	6.9	6.9	6.3	11.9	0.6
	女性(n=137)	10.9	6.6	8.0	10.2	25.5	7.3	7.3	6.6	7.3	13.9	2.2
障がいの状況別	身体(n=158)	6.3	5.7	14.6	2.5	27.2	9.5	8.9	12.0	12.0	12.0	0.6
	知的(n=66)	21.2	3.0	3.0	4.5	28.8	6.1	10.6	0.0	1.5	21.2	4.5
	精神(n=53)	5.7	0.0	1.9	41.5	26.4	5.7	1.9	0.0	1.9	13.2	0.0
	発達(n=78)	17.9	2.6	1.3	14.1	23.1	2.6	5.1	0.0	1.3	14.1	2.6
	難病(n=24)	12.5	8.3	12.5	0.0	8.3	12.5	0.0	8.3	12.5	16.7	0.0

単位:%		自動車改造費の助成	重度心身障がい者（児）等自動車燃料費・福祉タクシー運賃助成	手当・年金等	税の優遇	公共料金の割引	成年後見制度	地域福祉権利擁護事業	手話通訳者の派遣	要約筆記者の派遣	盲ろう通訳・介助者の派遣	現在、利用していない
全体(n=300)		2.3	13.0	23.3	20.3	17.7	4.3	2.7	0.3	0.3	1.0	26.3
性別	男性(n=160)	3.8	11.9	22.5	21.9	14.4	6.3	2.5	0.6	0.6	0.0	28.7
	女性(n=137)	0.7	13.9	24.1	19.0	21.9	2.2	2.9	0.0	0.0	2.2	24.1
障がいの状況別	身体(n=158)	4.4	19.0	20.9	22.8	18.4	2.5	1.3	0.6	0.6	1.3	17.7
	知的(n=66)	0.0	15.2	31.8	18.2	18.2	10.6	3.0	0.0	0.0	0.0	24.2
	精神(n=53)	1.9	3.8	34.0	24.5	20.8	3.8	5.7	0.0	0.0	1.9	24.5
	発達(n=78)	0.0	6.4	29.5	19.2	17.9	5.1	2.6	0.0	0.0	1.3	29.5
	難病(n=24)	12.5	16.7	12.5	12.5	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3

※参考：前回調査

問 26(2)　利用している場合は満足していますか



7　一人ひとりの権利を守る取り組みについて

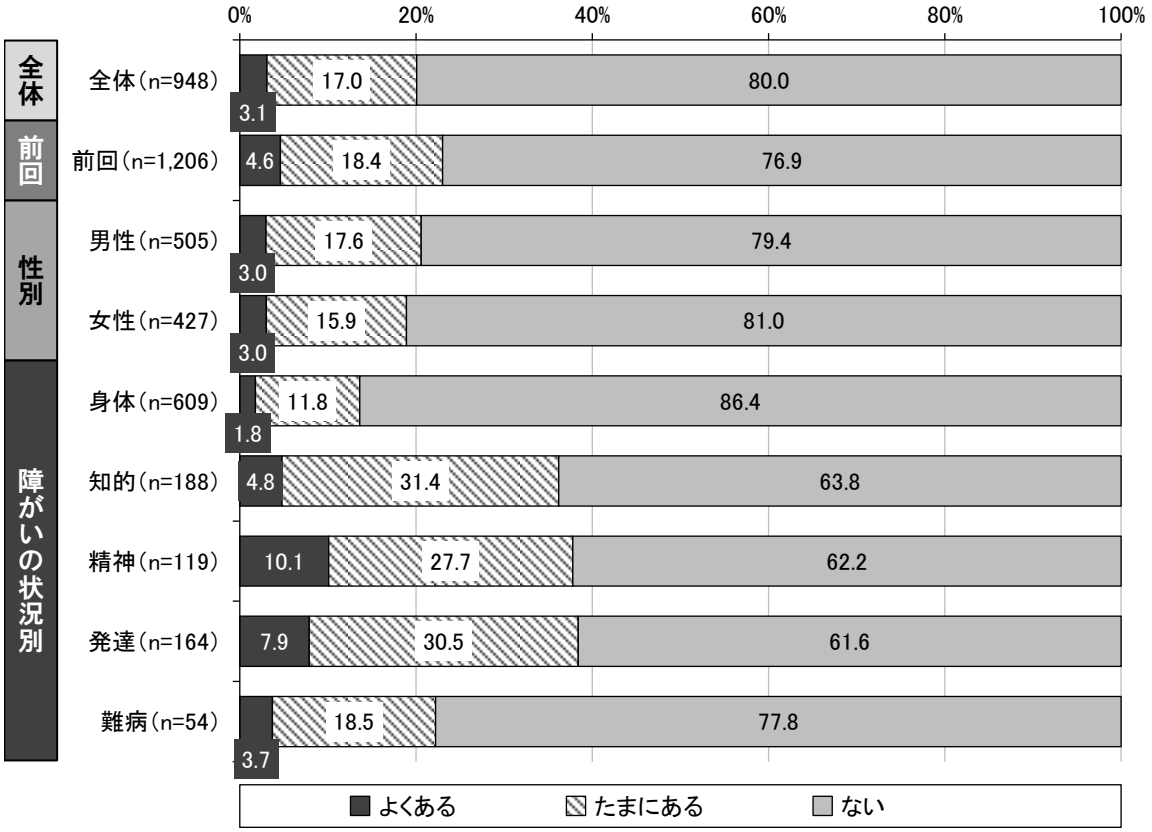
問 27　あなたは日常生活において、障がいがあるために差別や偏見を受けたり、嫌がらせをされたり、仲間はずれにされたと感じることがありますか。（あてはまるもの１つに○印を記入）

日常生活において、障がいが理由で差別や偏見を受けたり、嫌がらせをされたり、仲間はずれにされたと感じることがあるかについてみると、全体では「ない」が 80.0%と最も高く、次いで「たまにある」が 17.0%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「ない」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「ない」が最も高くなっています。



✔問 27 で「よくある」「たまにある」を選んだ方

問 27-1　どのようなときにそれを感じましたか。（あてはまるものすべてに○印を記入）

どのようなときにそれを感じたかについてみると、全体では「職場や学校での人とのつきあい」が 33.1%と最も高く、次いで「地域の行事や集まり」が 24.3%となっています。

前回と比較すると、「お店などでの対応」が 6.5 ポイント増加しています。

性別にみると、男性では「仕事の内容や給料の額」が女性より 15.3 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕では「地域の行事や集まり」、〔知的〕〔精神〕〔発達〕では「職場や学校での人とのつきあい」、〔難病〕では「バスや電車等の交通機関を利用した時」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		仕事の内容や給料の額	職場や学校での人とのつきあい	親戚関係の集まりの場	スポーツ・趣味の活動	地域の行事や集まり	お店などでの対応	市役所などの公共機関などでの対応	バスや電車等の交通機関を利用した時	病院などの医療機関を利用した時	その他
全体(n=181)		21.5	33.1	16.0	4.4	24.3	22.7	13.8	19.9	17.1	13.8
前回(n=260)		23.5	36.2	10.8	6.2	25.8	16.2	8.8	23.5	10.8	11.2
性別	男性(n=99)	28.3	31.3	13.1	6.1	27.3	26.3	14.1	20.2	16.2	9.1
	女性(n=77)	13.0	37.7	19.5	2.6	20.8	16.9	14.3	19.5	18.2	19.5
障がいの状況別	身体(n=77)	16.9	19.5	13.0	3.9	31.2	29.9	20.8	28.6	20.8	14.3
	知的(n=63)	30.2	41.3	19.0	7.9	34.9	28.6	9.5	22.2	12.7	7.9
	精神(n=44)	20.5	36.4	25.0	6.8	18.2	13.6	9.1	9.1	18.2	22.7
	発達(n=60)	26.7	51.7	18.3	8.3	21.7	20.0	8.3	16.7	15.0	10.0
	難病(n=11)	9.1	9.1	18.2	0.0	9.1	18.2	18.2	36.4	18.2	0.0

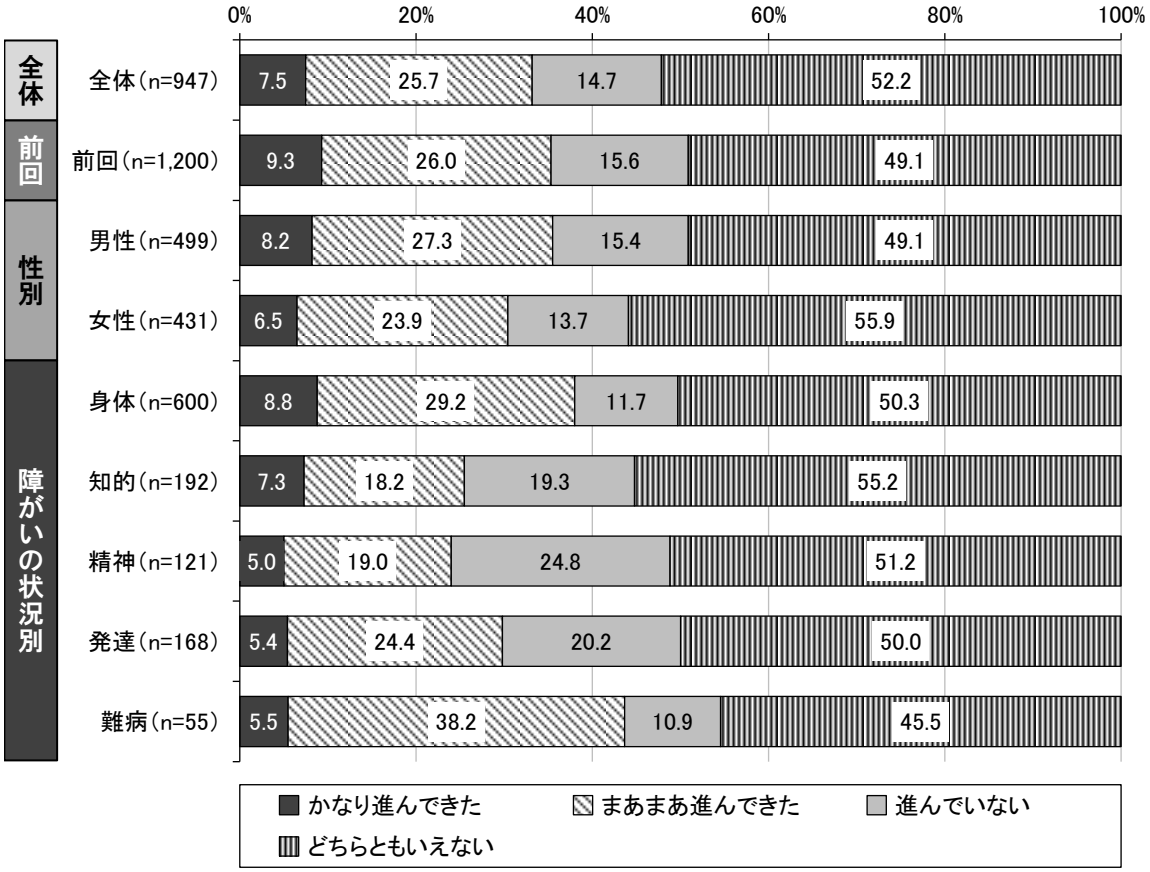
問 28　あなたは、栗東市民の障がいのある人に対する理解は進んできたと思いますか。
（あてはまるもの１つに○印を記入）

栗東市民の障がいのある人に対する理解は進んできたと思うかについてみると、全体では「どちらともいえない」が 52.2%と最も高く、次いで「まあまあ進んできた」が 25.7%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「どちらともいえない」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「どちらともいえない」が最も高くなっています。



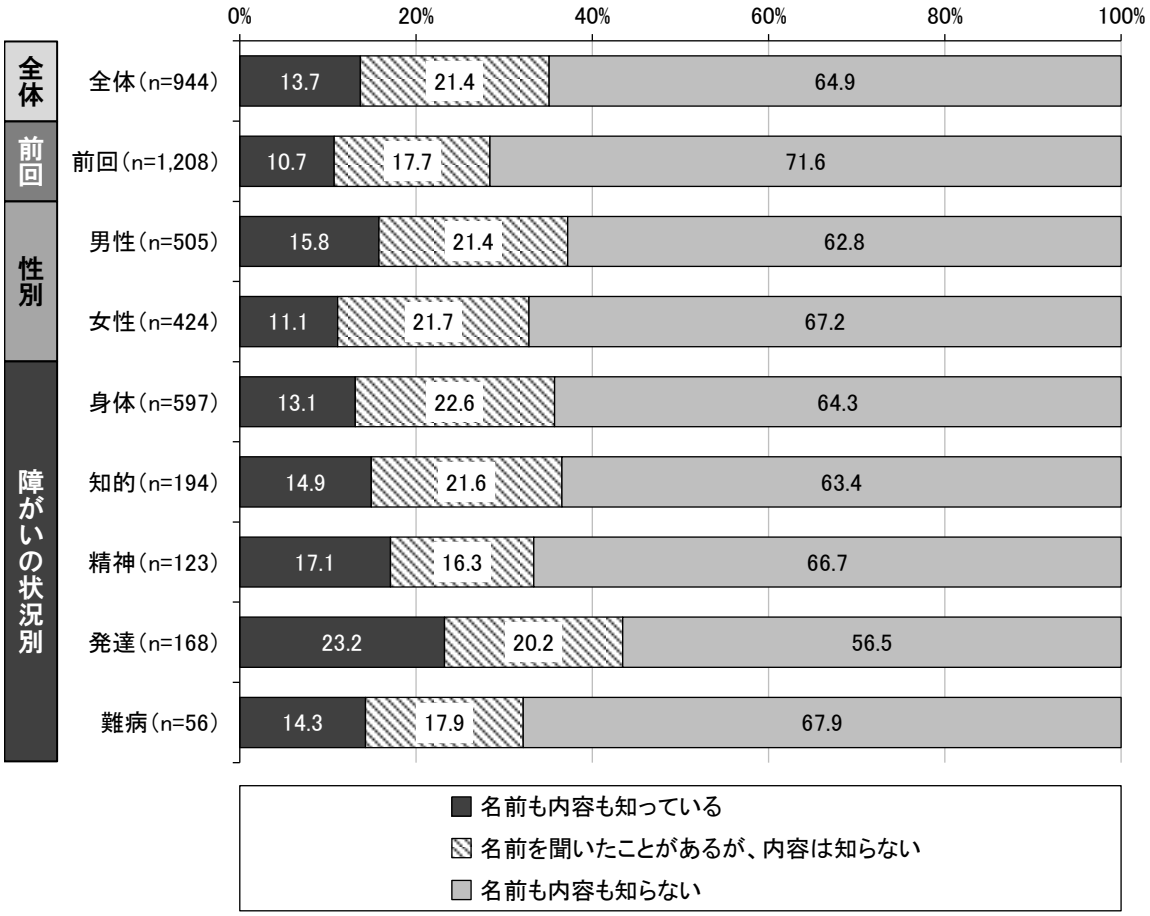
問 29　あなたは、合理的配慮について知っていますか。（あてはまるもの１つに○印を記入）

合理的配慮の認知度についてみると、全体では「名前も内容も知らない」が 64.9%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 21.4%となっています。

前回と比較すると、「名前も内容も知らない」が 6.7 ポイント減少しています。

性別にみると、いずれも「名前も内容も知らない」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「名前も内容も知らない」が最も高くなっています。



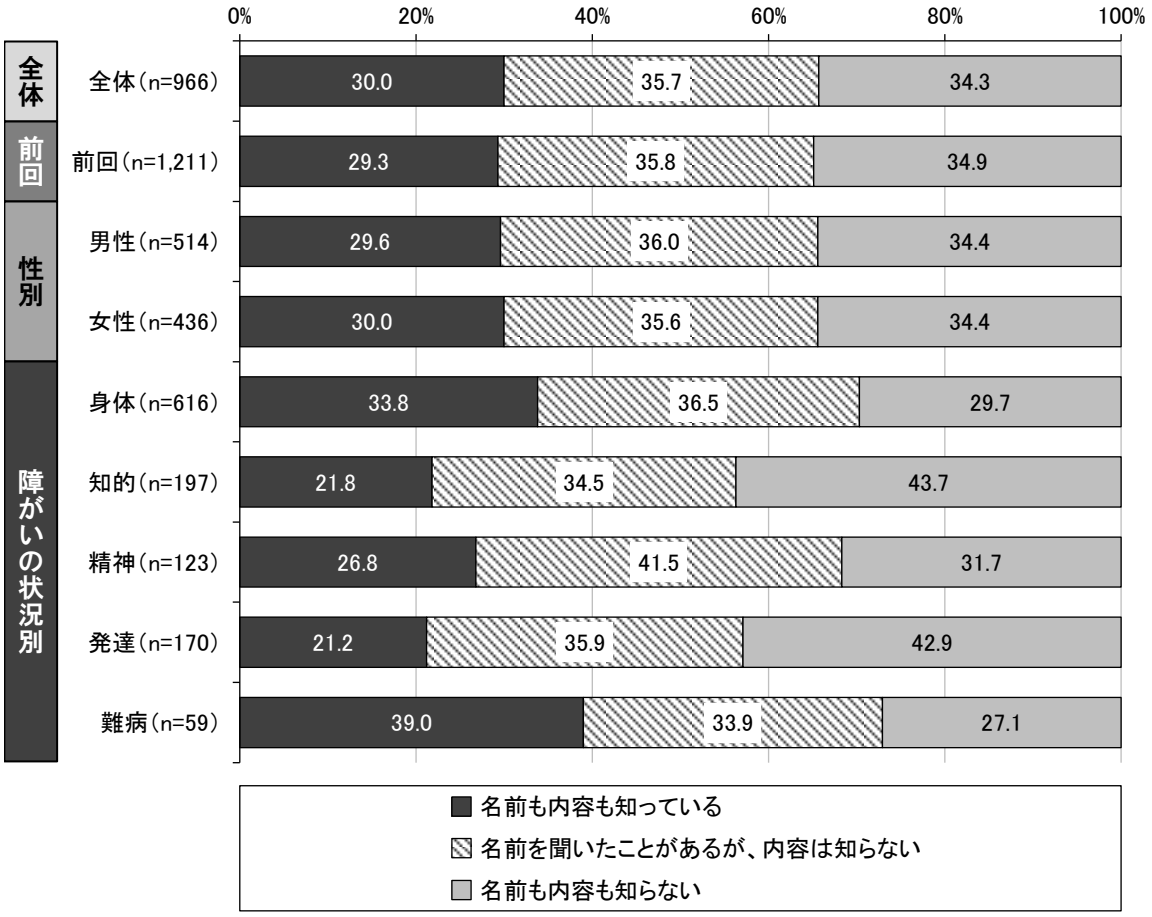
問 30　あなたは、成年後見制度について知っていますか。（あてはまるもの１つに○印を記入）

成年後見制度の認知度についてみると、全体では「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 35.7%と最も高く、次いで「名前も内容も知らない」が 34.3%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、いずれも「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔精神〕では「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」、〔知的〕〔発達〕では「名前も内容も知らない」、〔難病〕では「名前も内容も知っている」がそれぞれ最も高くなっています。

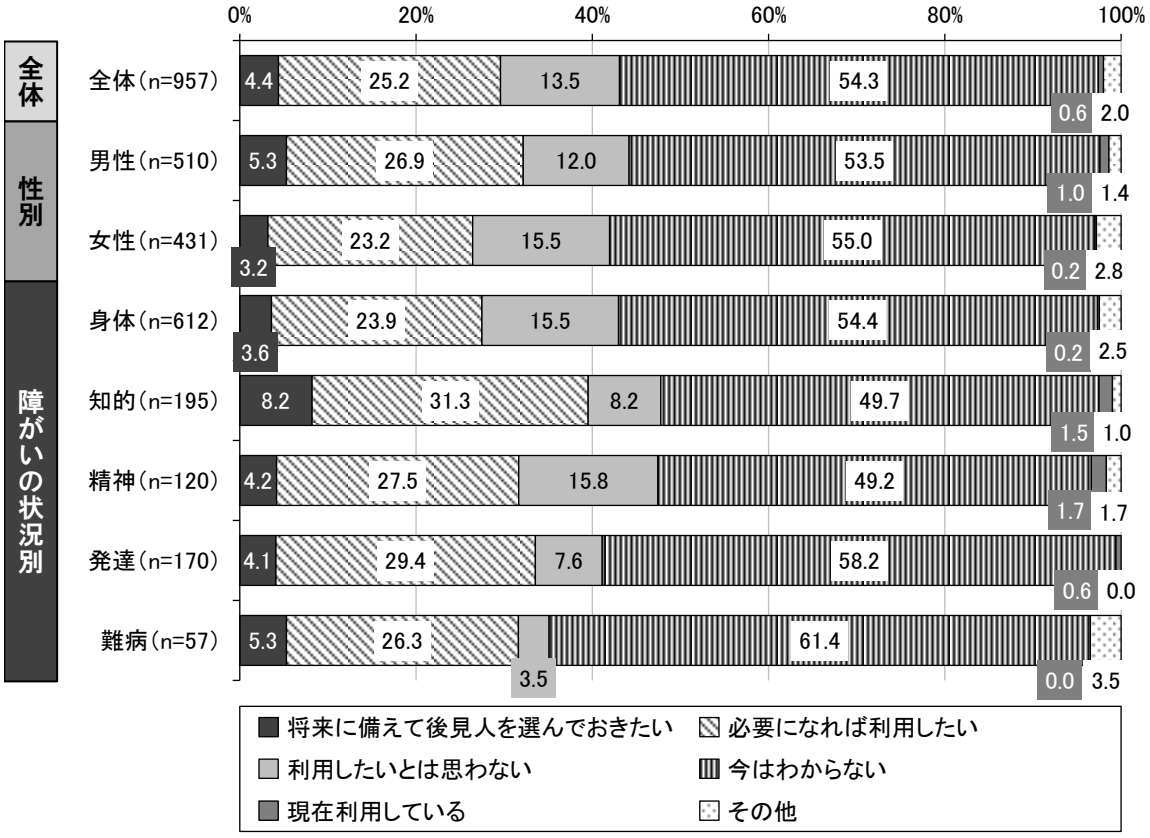


問 31　あなたは支援が必要になったときに、成年後見制度を利用したいと思いますか。
（あてはまるもの１つに○印を記入）

支援が必要になったときに、成年後見制度を利用したいと思うかについてみると、全体では「今はわからない」が 54.3%と最も高く、次いで「必要になれば利用したい」が 25.2%となっています。

性別にみると、いずれも「今はわからない」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「今はわからない」が最も高くなっています。

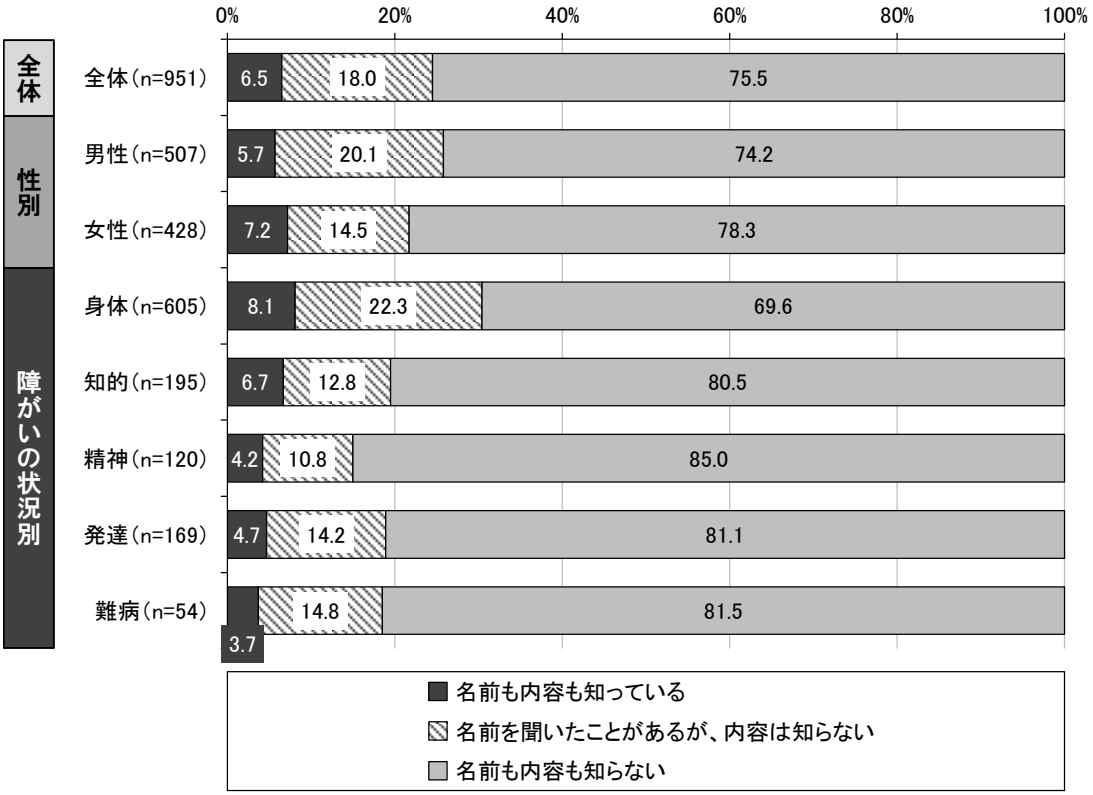


問 32　栗東市では、手話やコミュニケーション手段の理解を促進し、すべての市民が共生していく社会の実現に向けて、“栗東市手話言語条例”や“栗東市市民をつなぐ情報・コミュニケーション条例”を施行しています。あなたはこのことについて知っていますか。（あてはまるもの１つに○印を記入）

上記の条例を施行していることを知っているかについてみると、全体では「名前も内容も知らない」が 75.5%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 18.0%となっています。

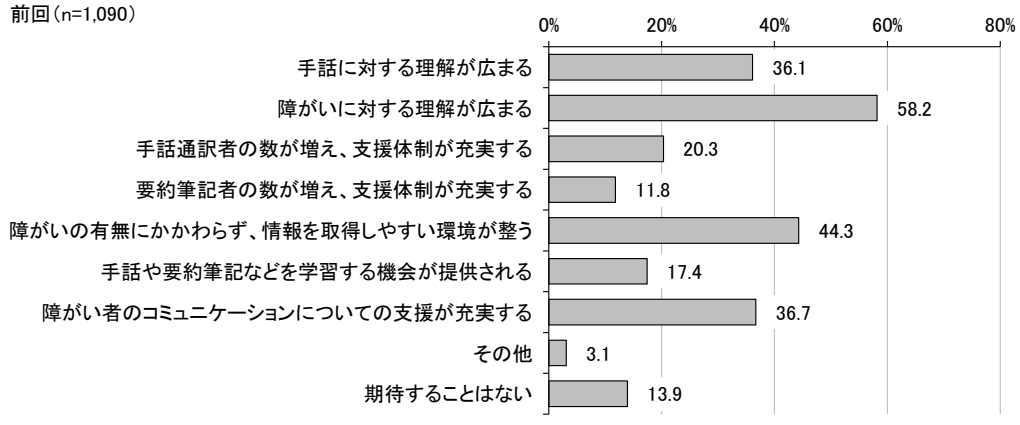
性別にみると、男性では「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が女性より 6.4 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「名前も内容も知らない」が最も高くなっています。



※参考：前回調査

問 31　あなたは、“栗東市手話言語条例”“栗東市市民をつなぐ情報・コミュニケーション条例”が施行されるにあたり、どのようなことを期待しますか（あてはまるものすべてに○）

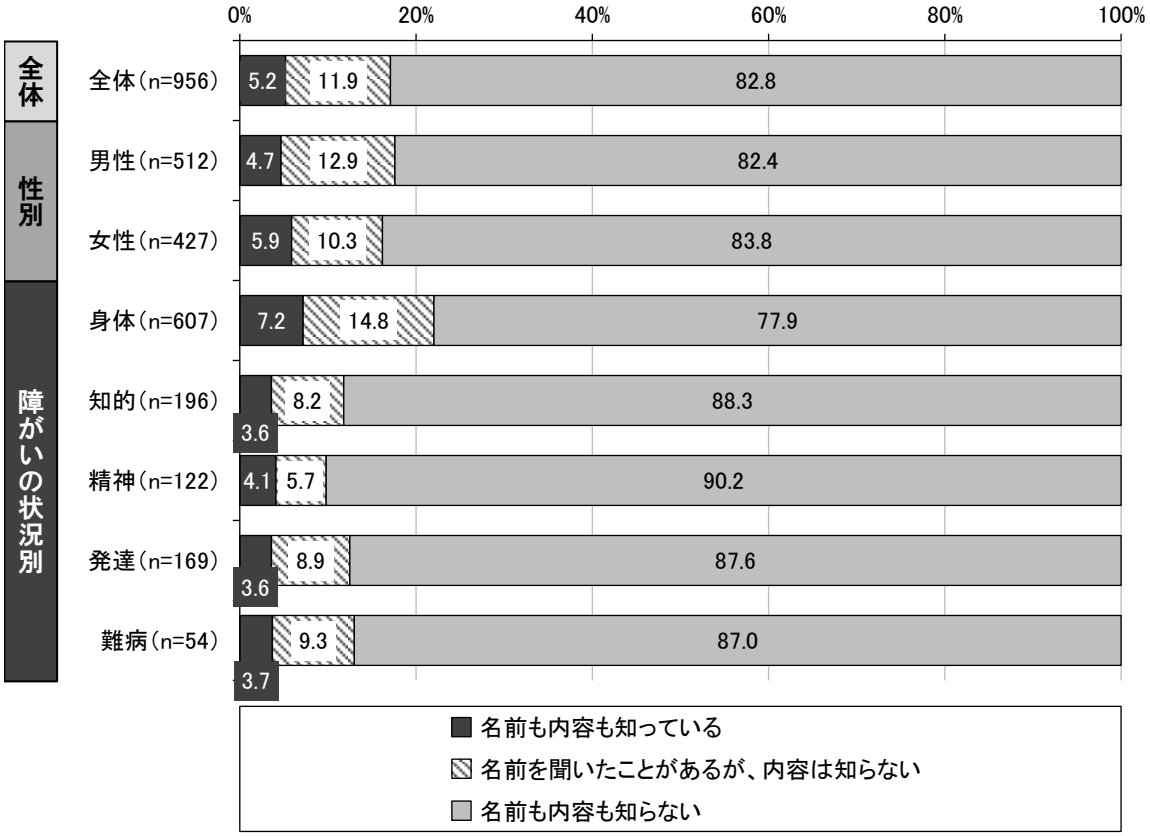


問 33　栗東市では、意思疎通が困難な方を対象に、意思疎通支援事業を実施しています。あなたはこのことについて知っていますか。（あてはまるもの１つに○印を記入）

意思疎通支援事業の実施を知っているかについてみると、全体では「名前も内容も知らない」が 82.8%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 11.9%となっています。

性別にみると、いずれも「名前も内容も知らない」が最も高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「名前も内容も知らない」が最も高くなっています。



8　今後についての調査対象者のお考えについて

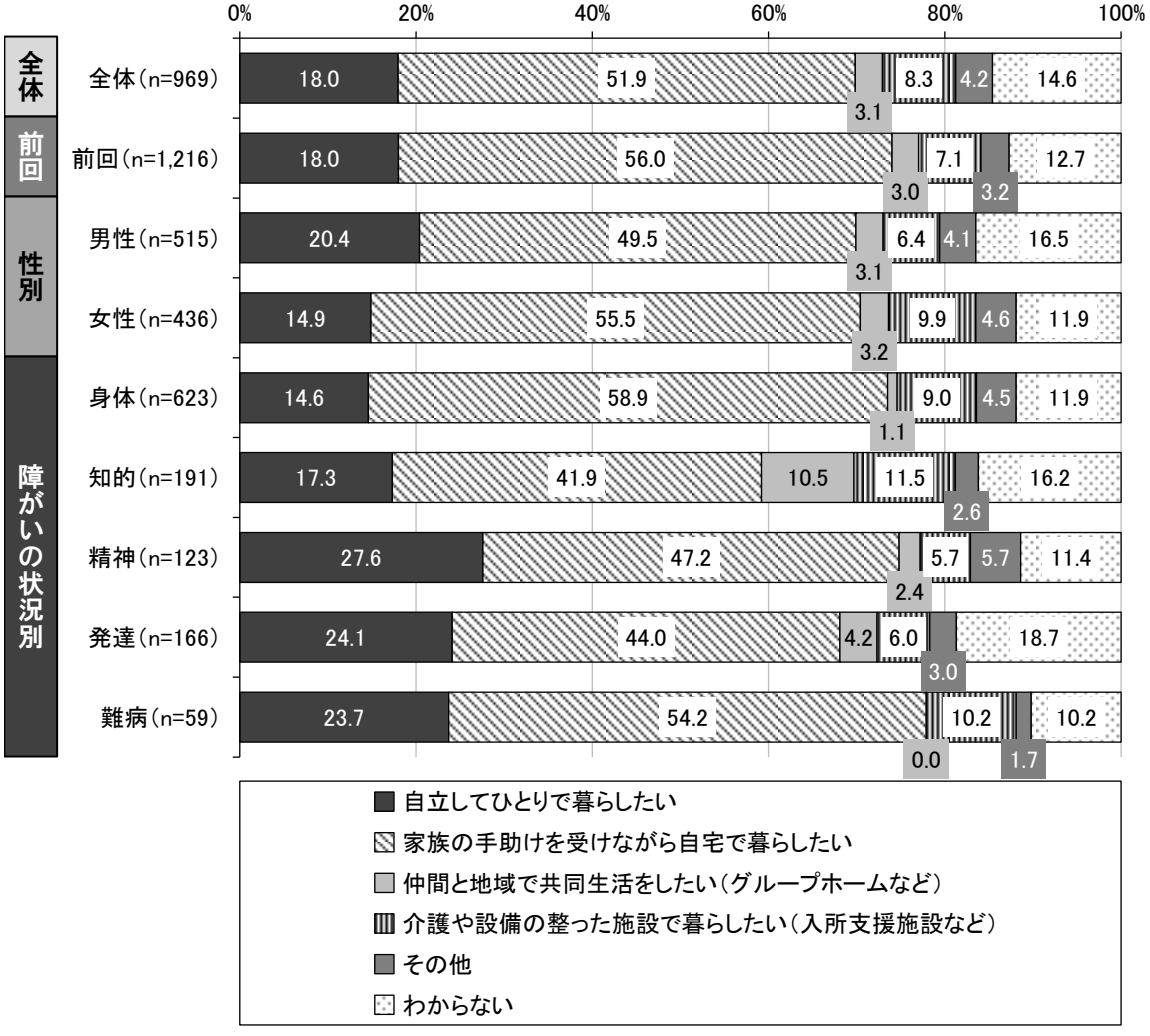
問 34　あなたは、今後どのように暮らしていきたいとお考えですか。
（あてはまるもの１つに○印を記入）

今後どのように暮らしていきたいかについてみると、全体では「家族の手助けを受けながら自宅で暮らしたい」が 51.9%と最も高く、次いで「自立してひとりで暮らしたい」が 18.0%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、女性では「家族の手助けを受けながら自宅で暮らしたい」が男性より 6.0 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「家族の手助けを受けながら自宅で暮らしたい」が最も高くなっています。



問 35　あなたにとって住みよいまちをつくるためには、どのようなことが必要だとお考えですか。
（あてはまるものすべてに○印を記入）

住みよいまちをつくるために必要なことについてみると、全体では「なんでも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が 58.8%と最も高く、次いで「サービス利用の手続きの簡素化」が 54.5%となっています。

前回と比較すると、「災害や緊急時の避難誘導体制の整備」が 6.9 ポイント減少しています。

性別にみると、女性では「在宅での生活や介助がしやすいよう、保健・医療・福祉のサービスの充実」が男性より 8.7 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔精神〕〔発達〕では「なんでも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」、〔知的〕〔難病〕では「サービス利用の手続きの簡素化」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		なんでも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実	サービス利用の手続きの簡素化	行政からの福祉に関する情報提供の充実	保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上	参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の充実	いろいろなボランティア活動の育成	在宅での生活や介助がしやすいよう、保健・医療・福祉のサービスの充実	リハビリ・生活訓練・職業訓練などの施設の充実	地域でともに学べる保育・教育内容の充実	職業訓練の充実や働く場所の確保
全体(n=968)		58.8	54.5	41.4	26.8	15.2	9.4	35.1	21.1	8.9	16.5
前回(n=1,211)		55.4	58.1	39.6	24.6	16.4	10.2	35.3	19.6	7.2	16.0
性別	男性(n=516)	61.0	53.9	42.8	28.3	17.2	9.5	31.0	20.0	9.9	17.8
	女性(n=433)	56.4	55.4	41.3	26.1	12.9	9.7	39.7	22.6	8.1	15.2
障がいの状況別	身体(n=617)	58.5	54.3	42.0	23.5	11.5	9.6	40.4	20.9	4.7	8.1
	知的(n=194)	58.8	61.9	46.9	30.4	20.6	8.8	29.4	22.7	12.9	27.8
	精神(n=123)	59.3	51.2	40.7	36.6	21.1	10.6	30.1	22.0	9.8	28.5
	発達(n=170)	66.5	60.0	44.7	32.4	22.4	7.6	24.7	26.5	14.1	39.4
	難病(n=63)	61.9	68.3	38.1	23.8	14.3	6.3	47.6	31.7	0.0	14.3

単位:%		障がいの有無にかかわらず、住民どうしがふれあう機会や場の充実	利用しやすい道路・建物などの整備・改善	障がいに配慮した公営住宅やグループホームの整備など、生活の場の確保	災害や緊急時の避難誘導体制の整備	障がいの理解を促すための福祉教育や広報活動の充実	その他	特にない
全体(n=968)		15.5	20.8	23.9	22.9	18.7	2.8	10.3
前回(n=1,211)		19.8	23.0	24.7	29.8	21.3	2.1	6.8
性別	男性(n=516)	16.7	20.5	23.3	21.1	19.2	2.9	10.9
	女性(n=433)	14.1	21.2	24.9	25.4	18.5	2.3	9.9
障がいの状況別	身体(n=617)	14.9	23.2	20.1	24.1	15.2	2.4	10.2
	知的(n=194)	15.5	17.5	39.7	29.4	27.3	3.1	9.8
	精神(n=123)	17.1	19.5	26.0	19.5	24.4	7.3	14.6
	発達(n=170)	18.8	18.8	34.1	22.9	31.2	3.5	8.2
	難病(n=63)	14.3	23.8	23.8	31.7	25.4	0.0	7.9

問 36　障がいのある人が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするため、どのようなことが重要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○印を記入）

障がいのある人が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするために重要なことについてみると、全体では「近所どうしのつきあいを深めること」が 38.9%と最も高く、次いで「入所施設を充実させること」が 29.5%となっています。

前回と比較すると、「近所どうしのつきあいを深めること」が 7.6 ポイント減少しています。

性別にみると、女性では「入所施設を充実させること」が男性より 6.6 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕では「近所どうしのつきあいを深めること」、〔知的〕〔発達〕では「入所施設を充実させること」、〔精神〕では「わからない」、〔難病〕では「生活介護などの通所施設を充実させること」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		近所どうしのつきあいを深めること	障がいのある人どうしの交流を深めること	障がいのある人が民生委員・児童委員との関わりを深めること	民生委員・児童委員などの活動を充実させること	ボランティアなどを育成して、活動してもらうこと	生活介護などの通所施設を充実させること	訪問系のサービスを充実させること	短期入所（ショートステイ）施設を充実させること	グループホームを充実させること	入所施設を充実させること	その他	わからない
全体(n=946)		38.9	21.5	21.7		14.3	26.3	27.4	21.9	17.7	29.5	3.3	20.6
前回(n=1,184)		46.5	23.2		21.5	16.5	29.0	27.1	23.4	17.1	30.0	2.2	16.3
性別	男性(n=509)	39.9	21.2	21.4		13.8	24.4	24.8	19.3	18.5	26.7	2.9	21.6
	女性(n=418)	38.3	22.0	21.8		15.6	29.2	30.4	25.8	17.5	33.3	3.6	19.1
障がいの状況別	身体(n=598)	44.0	16.9	22.1		14.2	25.6	30.1	23.9	14.5	30.3	2.5	19.2
	知的(n=193)	27.5	28.0	19.7		14.0	33.7	23.3	26.9	36.3	40.4	3.1	19.7
	精神(n=124)	26.6	24.2	16.9		12.1	20.2	20.2	10.5	13.7	17.7	8.1	29.0
	発達(n=170)	31.2	31.2	22.4		12.9	30.0	24.7	21.8	27.6	34.1	4.7	22.4
	難病(n=60)	36.7	25.0	30.0		13.3	40.0	38.3	35.0	16.7	38.3	1.7	13.3

※「障がいのある人が民生委員・児童委員との関わりを深めること」は今回調査のみの選択肢。
「民生委員・児童委員などの活動を充実させること」は前回調査のみの選択肢。

９　障がいのある人を「主に介助する人」について

問 37　今回の調査対象である障がいのある方を、主に介助する人はどなたですか。
（あてはまるもの１つに○印を記入）

主に介助する人についてみると、全体では「同居の家族」が 84.1%と最も高く、次いで「別居の家族・親族」が 7.3%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、男性では「同居の家族」が女性より 6.7 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、いずれも「同居の家族」が最も高くなっています。

単位:%		同居の家族	別居の家族・親族	近所の人・民生委員・児童委員	ホームヘルパー	施設・病院の職員	ボランティア	その他
全体(n=698)		84.1	7.3	0.6	2.0	3.7	0.3	2.0
前回(n=888)		87.8	6.2	0.2	1.4	2.7	0.3	1.4
性別	男性(n=373)	87.4	6.4	0.5	1.3	1.9	0.0	2.4
	女性(n=316)	80.7	7.9	0.6	2.8	6.0	0.6	1.3
障がいの状況別	身体(n=444)	81.3	9.2	0.9	1.8	4.3	0.2	2.3
	知的(n=162)	88.9	1.2	0.6	3.7	3.1	0.6	1.9
	精神(n=75)	77.3	9.3	0.0	4.0	4.0	0.0	5.3
	発達(n=132)	97.7	1.5	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0
	難病(n=50)	80.0	12.0	0.0	4.0	0.0	0.0	4.0

✔問 37 で「同居の家族」「別居の家族・親族」を選んだ方

問 37-1　主に介助する人の年齢をお答えください。（あてはまるもの１つに○印を記入）

主に介助する人の年齢についてみると、全体では「70 歳以上」が 31.1%と最も高く、次いで「50 歳代」が 21.5%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

性別にみると、女性では「50 歳代」が男性より 5.2 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔難病〕では「70 歳以上」、〔知的〕では「50 歳代」、〔精神〕では「40 歳代」「50 歳代」、〔発達〕では「40 歳代」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
全体(n=623)		1.9	1.0	8.8	18.8	21.5	16.9	31.1
前回(n=809)		0.2	1.2	5.4	17.9	20.9	20.8	33.5
性別	男性(n=344)	1.7	1.2	9.9	18.3	19.2	16.9	32.8
	女性(n=271)	2.2	0.7	7.7	19.6	24.4	16.6	28.8
障がいの状況別	身体(n=394)	0.5	0.5	3.6	12.9	20.8	20.8	40.9
	知的(n=141)	1.4	0.7	12.8	28.4	31.9	12.1	12.8
	精神(n=62)	1.6	3.2	14.5	22.6	22.6	14.5	21.0
	発達(n=127)	2.4	1.6	14.2	33.1	26.0	10.2	12.6
	難病(n=46)	0.0	2.2	4.3	26.1	15.2	13.0	39.1

✔問 37 で「同居の家族」「別居の家族・親族」を選んだ方

問 37-2　主に介助をする人（介助者）が、日頃、不安や心配および負担に感じていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○印を記入）

介助者が日頃、不安や心配および負担に感じていることについてみると、全体では「介助者自身の健康に不安がある」が 49.5%と最も高く、次いで「緊急時の対応に不安がある」が 34.0%となっています。

前回と比較すると、「介助者の精神的な負担が大きい」が 5.5 ポイント増加しています。

性別にみると、女性では「介助者が外出や旅行に出かけられない」が男性より 9.1 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔知的〕〔発達〕〔難病〕では「介助者自身の健康に不安がある」、〔精神〕では「介助者自身の健康に不安がある」「介助者の精神的な負担が大きい」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		介助者自身の健康に不安がある	介助者が高齢であることに不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	介助者が仕事に出かけられない	介助者が外出や旅行に出かけられない	介助者に休養や息抜きの時間がない	緊急時の対応に不安がある	介助者の経済的な負担が大きい	介助者の精神的な負担が大きい	介助者の体力的な負担が大きい	介助者の相談相手がいない	その他	特にない
全体(n=594)		49.5	33.5	33.3	12.3	14.6	17.0	34.0	22.7	33.8	31.3	10.9	2.2	14.8
前回(n=769)		53.1	38.5	31.6	9.8	15.5	16.0	34.5	18.5	28.3	27.3	9.9	2.1	15.2
性別	男性(n=326)	46.9	34.0	32.5	9.5	10.4	14.4	32.5	21.5	32.5	32.8	8.9	2.1	16.0
	女性(n=261)	52.5	32.6	34.1	15.3	19.5	20.7	36.0	23.8	34.5	29.1	13.4	1.9	13.8
障がいの状況別	身体(n=368)	52.7	40.2	32.9	10.3	16.6	16.8	35.1	19.0	28.8	30.2	6.8	1.1	13.9
	知的(n=141)	53.9	26.2	41.8	15.6	13.5	21.3	44.0	29.8	41.8	44.0	12.8	2.1	9.9
	精神(n=61)	49.2	32.8	42.6	13.1	13.1	16.4	37.7	39.3	49.2	31.1	24.6	4.9	13.1
	発達(n=125)	50.4	20.0	30.4	16.8	8.8	16.8	32.8	28.0	42.4	36.8	12.8	3.2	16.0
	難病(n=42)	71.4	52.4	42.9	14.3	21.4	26.2	50.0	28.6	23.8	40.5	9.5	0.0	4.8

✔問 37 で「同居の家族」「別居の家族・親族」を選んだ方

問 37-3　主に介助をする人（介助者）が、介護をしている障がいのある方の将来について、どんな不安を感じていますか？（あてはまるものすべてに○印を記入）

介助者が介護をしている障がいのある方の将来について、感じている不安についてみると、全体では「老後について」が 66.8%と最も高く、次いで「生活について」が 60.8%となっています。

前回と比較すると、「教育について」が 6.5 ポイント増加しています。

性別にみると、男性では「教育について」が女性より 5.2 ポイント高くなっています。

障がいの状況別にみると、〔身体〕〔精神〕〔難病〕では「老後について」、〔知的〕〔発達〕では「生活について」がそれぞれ最も高くなっています。

単位:%		教育について	住まいについて	生活について	老後について	その他	特にない
全体(n=536)		13.1	24.4	60.8	66.8	6.7	10.3
前回(n=712)		6.6	20.9	55.6	72.3	5.1	10.5
性別	男性(n=297)	15.5	25.3	59.6	65.7	6.7	11.1
	女性(n=233)	10.3	24.0	61.8	67.4	6.9	9.4
障がいの状況別	身体(n=325)	2.8	15.7	50.2	68.0	6.2	13.8
	知的(n=134)	23.9	50.0	81.3	73.9	5.2	1.5
	精神(n=57)	5.3	29.8	71.9	73.7	7.0	7.0
	発達(n=117)	30.8	47.0	80.3	69.2	5.1	2.6
	難病(n=39)	5.1	33.3	71.8	79.5	7.7	5.1

栗東市
障がい福祉についての
アンケート調査　結果報告書

発行：栗東市役所　健康福祉部　障がい福祉課
TEL：077-551-0113・0304
FAX：077-553-3678

発行年月：令和５年９月